

第四十四回帝國議會 衆議院 國有財產法案委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正十年二月二日午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

清水市太郎君 澤 來太郎君 宮古啓三郎君
清 峯太郎君 長谷場 敦君 竹上藤次郎君
深見寅之助君 野口忠太郎君 佐野 正雄君
伊藤 廣幾君 日野 辰次君 高木 正年君
中川幸太郎君
同月一日委員降旗元太郎辭任ニ付其ノ補闕トシテ金澤安之助君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府財務局長 河内山樂三君
臺灣總督府財務局長 大塚常三郎君
朝鮮總督府內務局長兼參事官 阿部 滂君
臺灣總督府參事官 山田準次郎君
內務省參事官 笠井 信一君
北海道廳長官 西野 元君
大藏省主計局長 河田 烈君
大藏書記官 太田嘉太郎君
主計局書記官 河本 文一君
文部省宗教局長 柴田駒三郎君
農商務省山林局長 中井 勵作君
鐵道省工務局長 岡野 昇君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國有財產法案

○委員長(清水市太郎君) ソレデハ開會ヲ致シマス
○竹上藤次郎君 本日ハ鐵道ノ事ニ就キマシテ質問ガアリマスデ、鐵道ノ工務局長ノ御出席ヲ願ヒタクゴサイマス、ソレヲ待テ居リマスル間ニ、外ノ事ヲ質問申上ゲマス

○委員長(清水市太郎君) 宜シウゴザイマス
○竹上藤次郎君 是ハ特ニ內務ノ方ノ關係デアリマスカ知レマセスガ、地方ノ高等官ノ官舎ガ、隨分贅澤ナ大キナ官舎ヲ持ッテ居ラレル、借家難ノ今日、却テ地方ノ屬官ノ方ノ官舎ガ無イ爲メニ、赴任サレテ

モ下宿屋ニ居ラナケレバナラヌト云フヤウナ、氣ノ毒ナ場合ガアリ、又非常ニ家賃ガ都會ニ於テハ高價デアリマス、甚ダ斯ウ申上ゲテハ失禮デアリマスガ、安イ月給ノ方ガ、却テ莫大ナ家賃ヲ拂ッテ、却テ高イ月給ノ方ガ千坪モ二千坪ニモ達スル様ナ大キナ官舎ヲ持ッテ居ラレルト云フノハ、甚ダ社會政策上カラ面白カラザル事デアルト考ヘマス、又地方ノ高等官ノ方、敢テ體面ヲ保ツノニ二千坪、千坪或ハ五百坪ト云フヤウナ大キナ官舎ノ必要ヲ私ハ認メナイノデアリマス、是ハ先日調査委員ノ方各地ニ出張サレタ時ニモ、其事ニ就テ御調査ガアリマシタ、之ニ對スル御意見ハドウ云フ 御意見デアリマスカ、御尋シタイト思ヒス

○西野政府委員 只今御尋ノ地方長官其他ノ官舎ノ事ニ就キマシテハ、詳細ナル事ハ、或ハ御要求ニ依リマシテ、內務省ノ政府委員ノ出席ヲ求メテ、御答ヲ申上ゲル方ガ宜シイカト考ヘマス、大體私ノ御答ノ出來マス範圍ニ於テ、取敢ヘズ御答ヲ致シテ置キマスガ、只今御話ノヤウナ事實モ、多少絶無デハナカラウト考ヘマス、折々又左様ナ説モ承リマス、併シ是ハ從來地方長官ノ官舎等ニ充テマシタ所ノモノガ、時勢ノ變遷ニ依リマシテ、今日カラ見マスレバ、稍々大キ過ギル、若クハ廣過ギルト云フヤウナ感ノアル場合ガアラウト存ジマス、將來新タニ官舎ヲ建テマスモノニ就キマシテハ、餘程攻究ヲ要スルト考ヘテ居ルノデアリマス、此官舎ノ建築ニ就キマシテハ、豫算ノ上ニ就キマシテモ、亦國有財產ノ管理ニ關スル問題ト致シマシテモ、將來篤ト攻究ヲ致シマシテ、餘程改善ヲ致サナクテハナラヌ點ガアラウカト考ヘテ居リマス、隨テ只今ノ御尋ノ如キ若シ弊害ガアリトスレバ、此等ノ事ハ政府ニ於キマシテ、篤ト其邊ノ事情ヲ取調べマシテ、將來斯ノ如キ不都合ノ無イヤウニ致サナケレバナラヌト存ジマス、勿論先刻申上ゲマシタ通り、只今左様ナ甚シキ不都合アリヤ否ヤハ、私ノ所デ斷言ヲ致ス限リデハアリマセヌ、御話ノ様ナ

事實ガアリト致シマスレバ、是ハ餘程考慮スベキ事デアラウト考ヘマス、夫レダケノ事ヲ申上ゲテ置キマス

○竹上藤次郎君 私ノ質問ニ對シテ、絶無デハナカラウト云フヤウナ不安定ナ政府委員ノ御意見デアリマスガ、絶對ニ大キナモノガアリマスコトヲ私ハ認メテ居リマス、殊ニ大阪ノ如キ非常ニ高地價ノ所ニ、千坪二千坪ト云フ様ナ大キナモノガアリ、又京都ニ於テモ、最近ニ於テ漸ク二三箇月前ニ知事ガ引移ラレタ官邸ノ如キデモ、隨分大キナモノデアリマス、私等カラ見マスルト、非常ニ贅澤ナモノデアラウト考ヘマス、今迄ハ地方長官ト云フモノガ、人民ノ上ニ立ッテ、立派ナ幕ヲ生ヤシ、立派ナ官邸デモ持タナイト、威嚴ヲ冒瀆シタカモ知レマセヌガ 只今ハソナ事ヲセヌデモ宜イノデ、多少ノ威嚴ヲ持タヘル爲メニ官舎ガアレバ宜イノデアラウト私ハ考ヘマス、デ是ハ緊急ニ一ツ著手ヲシテ戴イテ、ソレデ整理ヲシテ戴コトヲ私ハ切ニ望ンデ置キマス、是ハ希望デアリマス、ソレカラ各府縣廳、是モ府縣廳ノ隨分立派ナモノモ、亦甚ダ貧弱ナモノモアリマスルガ、府縣廳ノ周圍ニハ、非常ニ空地ガ澤山アリマス、樹木ヲ植ヘテ鬱蒼トシテ居ル所ガ澤山アリマスガ、是等モソレト同時ニ私ハ御願ヲ致シタイノデアリマス、左様ナ空地ガアレバ、屬官ダケノ小サナ官舎デモ其處ニ拵エテヤル、或ハ人民ニ貸下ゲテ、ソレ相當ノ國家ノ收入ヲ擧ゲテ頂キタイ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ丁度宗教局長ガ御出マシデアリマスカラ、一寸御寺ノ事ヲ御伺ヒ致シマス、本法第二十四條ハ、全ク寺ノ土地ハ官有デアルト云フ事ニ規定ヲサレテ居リマシテ、ソレデ再三御質問致シマシタガ、多少私等トハ意見ノ違フ所ガアリマスガ、ソレハ官有地ナリト云フ斷定ニ致シマシテモ、第五條第三項ニ寺院ノ合併ノ場合ニハ、之ヲ無償デ下ゲテヤルト云フ規定ガゴザイマスノハ、此規定ヲ以テ見マスルト、現在ハ民有ノモノデアルガ、便宜上官有ニシタ場

合ハ、原則トシテ民有デアルナラバ、矢張不用ニナッ
タ場合ハ、其寺ニ下渡シテヤル、ソレヲ賣ツテモドウ
シテモ構ハナイト云フ規定ガ出來テ居リマスガ、ソ
コノ所ハ甚ダ主義矛盾ガアリハシナイカト私ハ考ヘ
マス、局長ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○柴田政府委員 只今竹上サンカラ御尋ニナリマシ
タ事ニ就キマシテハ、此二十四條ニ就キマシテハ、大
藏省ノ政府委員カラ詳細御答辯ガアツタ事ト存ジマ
スルガ、御承知ノ通り此明治四年ニ於キマシテ、寺院
ノ境内地ヲ官民有ノ區別ニ依リマシテ、或モノハ官
有トナリ、或モノハ民有ニシタノデアリマス、其民有
デアルコトノ證據ノ明確ナルモノハ、其當時ニ於キ
マシテモ民有地ニナリマシタノデアリマス、政府ガ
民有ト直チニ見ルコトノ明カナラヌモノガ、詰リ官
有地ニナルノデアリマス、其後尙ホ明治三十二年下
戻法ニ就キマシテ、民有ノ色ニ證據アルモノハ、是ハ
下戻スト云フコトニナリマシテ、ソレトソレニ依ッ
テ行政訴訟モアリ、民有ノ方ハ確ニ民有ト認メルモ
ノハ、總テ寺院ノモノデアレバ寺院有ト云フコトニ
シタ次第デアリマス、是ハ御承知ノ通りデアリマス、
其殘リノ分ニ就キマシテ、是ハ隨分其中ニ民有地ハ
絶對ニ無イ、誤リハ少シモ無イト云フコトハ、是ハ無
論申上デラレマセヌノデアリマスルケレドモ、併シ
大體今ノヤウナコトデアリマシテ、是ハ官有地ト決
メマシタ、其事ハ決シテ間違ッテ居ナイ、間違ッタモノ
ニ就テハ下戻シヲスルカラ、現在ニ就キマシテハ官
有地デアル、斯ウ云フ事ニ考ヘテ居リマスルノデア
リマス、ソレデ唯今此第五條ノ第三デ、之ニハ合併シ
タ場合ニハ、其合併シタ「寺院又ハ佛堂ニ讓與スルト
キ」トアルノハ、詰リ此民有地デアルト云フコトヲ認
メテ、民有地ニ讓與スル趣意デハナイカ、斯ウ云フ御
質問デアリマスガ、其趣旨デハゴザイマセヌ、維新ノ
當時カラデアリマシタガ、ドウモ寺院ナリ佛堂ナリ
ノ數ガ隨分相當澤山アル、サウシテ其中デ隨分維持
ノ困難ノヤウナ寺院等モアル、ソレデ出來レバ、サウ
云フ寺院佛堂ヲ合併セシメルコトガ出來レバ、成ベ
ク合併サシタガ宜シカロウ、斯ウ云フ趣意カラ、是ハ
確カ明治三十二年カ三年頃デアッタと思ッテ居リマス

ガ、其頃勅令ヲ出シマシテ、サウシテ此合併ヲ謂ハバ
獎勵スル趣意デアッタと思フノデアリマス、合併ヲ獎
勵スル爲メニ、今ノヤウナ維持困難ノヤウナ寺院ハ
合併ヲスル、サウシテ其合併シタ方ノ跡地ハ其寺院
ニ歸スル、讓與ヲスル、ソレニ依ッテ寺院モ維持ヲス
ル、相當ニヤッテ行クト云フヤウナコトヲシタ方宜
カラウ、斯ウ云フ政策カラ其當時勅令ヲ出シマシタ、
ソレニ依リマシテ此寺院等ニ讓與シマシタ、合併ニ
ナリマシタ寺院等ニ讓與シマシタモノモアルノデア
リマス、其調ハ今シツカリシタモノモ持ッテ居リマセ
ヌ、ソレデ是ハサウ云フ趣意カラ致シマシタノデハ
アリマセヌ、其勅令ノ趣意ヲ此國有財産法「第五
條第三項ヲ受繼ギマシタニ過ギナイ」ノデアリマス、
主義ニ於キマシテ矛盾シテ居ナイ、サウ云フ考デア
リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○竹上藤次郎君 引續イテ又局長ニ一寸伺ヒマス
ガ、只今立法ノ精神ニ於キマシテハ間違ナイト云フ
御説明ヲ承リマシテ、私モ了解致シマシタ、併ナガラ
寺院ノ併合ヲ獎勵ノ意味ニ於テ此空地ヲ下デ遺ハス
ト云フコトハ、是ハ私的關係デアリマシテ、唯ダ獎勵
ニ於テト云フ意味、竝ニ其事情ヲ察シテヤルニ止マ
ルノデアリマス、左様デアリマスルナラバ、都市計畫
デアルトカ、或ハ道路ノ問題デアルトカト云フヤウ
ナ工合ニ、公ニ公共ノ爲メニ使用サレマスル場合ニ
於キマシテハ、其代價モ遺ルコトガ出來ナイト云フ
ヤウナコトニナッテ居リマスカ、私的關係ニ遺ッテ、公
共ノ時ニ代價ヲ遺ラナイト云フコトハ、其處ニ甚シ
キ矛盾ガ起キハシナイカ、斯ウ考ヘマス、其點ハ如何
デアリマスカ、何カ補償デモ遺ルト云フコトガアル
ノデアリマスカ

○柴田政府委員 其點ニ就キマシテハ、從來特ニ明
カナル規定ガゴザイマセヌノデ、是ハ寺院ノ都合デ
モ、餘程其爲メニ甚ダ困ルト云フ様ナ話モ段々私共
聞及ビマシタノデアリマス、サウ云フ事ニ就キマシ
テハ、出來ルダケ相當ナ寺院ナリ佛堂ナリノ餘リ困
ル事ノナイヤウニセネバナラヌ、斯ウ云フ考デアリ
マシタガ、此國有財産法第十八條ニ依リマシテ規定
ガ出來テ居ル、斯ウ云フコトニ第十八條第二項デア

ッタと思ッテ居リマス、第十八條ノ第二項ニ、其場合ニ
ハ、契約ヲ解除シマシテ——無償貸付ニナッテ居リマ
ス、其契約ヲ政府ガ解除致シマス、サウシテ其解除シ
タ場合ニハ、借受人詰リ寺院ハ、之ニ依テ生ジタル損
害ニ付賠償ヲ求ムルコトヲ得、賠償ヲスルコトニシ
ヤウ、斯ウ云フヤウナ案ニナッテ居ル、私共ハ是デ相
當ニ是マデ規定ノ無イ爲メニ困ッタ状態ヲ、斯ウ云フ
規定ガ出來レバ救済ガ出來ルダラウト、斯ウ考ヘテ
居リマス、併シ此點ニ就キマシテハ尙ホ大藏省ノ方
ニ御意見ヲ...

○宮古啓三郎君 私ハ本日直チニト云フ譯デアリ
マセヌガ、國有財産ノ調ガ先達大藏省カラ出シテ頂
キマシテ、大變便宜ヲ得テ居リマス、併シ是ハ内地ダ
ケノモノデ、樺太トカ、朝鮮トカ、臺灣トカ、關東州ト
カ云フ方ニ及ンデ居ナイ、本法ハ直チニ之ヲ今申シ
タヤウナ所ヘ實行スル譯デアリマセヌケレドモ、
併ナガラ苟モ國有財産デアアル以上ハ、我が日本帝國
ガドノ位國有財産ヲ持ッテ居ルモノカト云フコトヲ
見ルコトモ極メテ必要デアリ、有意義デアルト思ヒ
マスカラ、是ハ一ツ委員長カラ御交渉ヲ願ッテ、臺灣、
朝鮮、樺太、關東州、是ダケノ財産調ヲ一ツ參考書ト
シテ出シテ頂クヤウニ願ヒタイト思ヒマス、ソレヲ
出シテ頂イタ上デ、矢張又ソレニ對シテ御尋ヲ致シ
タイヤウナ點ガ出來ルダラウト思ヒマス、其表ダケ
デ直様判ルヤウニナッテ居レバ洵ニ結構デアリマス
ケレドモ、サウバカリモ行キマスマイト思ヒマスカ
ラ、サウ云フ場合ニハ更ニ此方ヘ御出デラ願ッテ、御
答ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマスカラ、其計ラヒ
ヲ一ツ委員長カラ御交渉ヲ願ヒマス

○委員長(清水市太郎君) 承知致シマシタ
○宮古啓三郎君 一寸私他ヘ參リマスノデ、一言ダ
ケ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、ソレハ二十一條
ノ所デ、雜種財産ニ就テハ、開拓ヤ何カノ爲メニ賣
拂、讓與、貸付ノ豫約等ガ出來ルノデアリマスガ、雜
種財産ニアラザル、例ヘバ營林財産ト云フヤウナモ
ノニ就テハ、是カラ先キハ開墾ノ爲メデアツテモ、賣
拂、讓與ト云フコトハ出來ナイノデアルカ、矢張營
林財産デアレバ、ソレヲ雜種財産ニ組入レナイ間ハ

出來ナイノデアアルカ、今日マデノ遺方ニ於キマシテハ、矢張不要存置林デナイモノデアッテモ、開墾ヤ何カノ爲メニハ許可シテ居ルタカノヤウニ思フ居リマスガ、或ハ今日迄モサウ云フ事ハナクシテ、矢張不要存置林デナケレバ、開墾ノ爲メデアッテモ許可——賣ヲスルト云フヤウナ事ハナカッタノデアリマセウカ、此邊ヲ一寸伺ッテ置キタイノデアリマス

○河本政府委員 只今此植民地ノ官有財産ニ關スル調査ノ御要求ガアリマシタガ、是ハ先般差上ゲマシタ官有財産調ト云フ中ニ臺灣、朝鮮、樺太ノ分ハ載ッテ居リマス、關東州ノ調ニ就テハ、マダ十分ナ調ガゴザイマセヌノデゴザイマス、臺灣、朝鮮ト樺太ダケノ分ハ載ッテ居ルノデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○長谷場敦君 只今ノ御答辯ニ依リマスト、植民地モ總テ掲載シテアルヤウナ御話デアリマスガ、農商務省ノ此備考ノ所デ見ルト、鑛區ヲ含ムトアッテ鑛區モ這入ッテ居ル、併シ朝鮮ノ方ニハ多數ノ鑛區ガアルヤウニ思ヒマスガ、ソレハ一寸モ見エテ居ラスノデアリマス、ソレデ實ハ先般カラ一寸質問致シタイト思ッテ居リマシタノデ、朝鮮總督府ノ政府委員ニ一寸御尋ネ致シマス、朝鮮ノ鑛區ハ總督府ノ所有ニ屬シテ居ルモノガ多數アリマス、ソレニ就テ少シ詳細ニ御答ヲ願ヒマス

○河本政府委員 鑛區ノ御話デアリマスガ、鑛區ハ從來官有財産管理規則書ノ官有財産デアアルヤ、否ヤ、甚ダ不分明ノモノデゴザイマス、農商務省ノ取扱ハ、鑛區モ官有財産ト見做シテ、官有財産ノ中ニ入レテ居リマスガ、其他ノ所ニ於キマシテハ、鑛區ハ官有財産デナイト云フ見解カラ、官有財産ノ中ニ掲ゲテ居リマセヌノデゴザイマス、朝鮮ノ分モ、鑛區ハ官有財産デナイト云フ見解カラ載ッテ居リマセヌ次第デゴザイマス、今度ハ是ハ國有財産ト云フ中ニ全部入レル積デアルト云フコトハ、説明シタ通りデアリマスガ、今迄ノ取扱トシマシテハ、鑛區ニ就キマシテハ甚ダ曖昧ナ譯デアリマス、農商務省ダケガ特ニ鑛區モ官有ノ土地ト見做シテ居ル次第デゴザイマス

○宮古啓三郎君 只今ノハ私ノ考違ヒデアリマシ

タ、確ニ表ノ上ニ載ッテ居リマス、載ッテ居リマスガ、餘リニ漠ト載ッテ居リマスノデ、是ダケデハ少々分リ兼ネマスカラ、詰リ私ノ最モ主トシテ知リタイト云フノハ、ドノ位ノ財産ガアッテ、ソレヲドウ云フ風ニ取扱ッテ居ルカト云フコトヲ知リタイノデアリマス、ソレニ就キマシテハ、本日ハ其方ノ側ノ政府委員モ御出デガナイヤウデアリマスカラ、次回ニ臺灣若クハ朝鮮等ノ政府委員ノ御出席ヲ願ッテ、サウシテソレヲ承リタイト思ヒマス、先刻御尋シマシタ點ダケヲ御答ガ出來マスレバ、一寸願ヒタイノデアリマス

○河本政府委員 ソレカラ二十一條ノ土地ノ開拓等ニ就テノ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ雜種財産ダケニ就テ、斯ウ云フ開拓ノ爲メ賣拂、讓與等ヲ許ス積リデアリマス、營林財産其他ニ就キマシテハ、雜種財産ニ組變ヘマシタ後ニ、斯ウ云フ所ヲ許ス積リデゴザイマス、ソレカラ從來國有林野ニ就キマシテモ、矢張不要存置林ダケニ就テ斯ウ云フ事ニシテ居リマシタノデ、此點ニ就キマシテハ、本法案ト從來ノ國有林ノ遺方トハ、少シモ差異アリマセヌ

○竹上藤次郎君 柴田サンニ御尋シタイ事ガマダ少シアリマスガ、鐵道省ノ方ガ態々御苦勞下サッテ、又豫算ノ委員會モアルサウデスカラ、一寸先キニ——鐵道ノ線路ノ矩ノ附近ニ大分餘地ガアルヤウニ私等ハ見テ居リマスガ、其鐵道線路ノ附近ノ餘地ノ御利用方法ハドウ云フヤウニナッテ居リマスガ、或ハ此等ノモノヲ貸下ゲ賣拂ッテ、鐵道從事者ニ對シ社會政策的施設デモセラル、コトデアアルカ、或ハ官舎ノ附近ニ樹木デモ植エルトカ、果物林デモ造ル、鐵道ノ矩ノ所ニ果物デモ植エテ收益デモ舉ゲルトカ、色々外國デモヤッテ居リマス、アレハ甚ダ勿體ナイモノデアルト思ヒマス附近ニモ小サナ空地ガアリマスガ、ソレノ利用法ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレマスガ、ソレヲ承リタイ

○岡野政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマスガ、鐵道ノ築堤ノ矩デゴザイマスガ、是ハ餘程以前カラ皆其考ヲ持タレテ、鐵道省ノ方ニモ樹木ノ栽培ヲ許シテ吳レト云フコトヲ申出テ來タコトガゴザイマス、併ナガラ植エマス物ニ依リマシテ、築堤ノ土ヲ固

クスルヤウナモノデアリマスレバ差支ナイト思ヒマス、併シ脊ガ伸ビテ根ノ張ラヌヤウナ植物デアルト云フト、ソレガ風ニ當ルガ爲メニ、堤防ヲ壞ス虞ガゴザイマス、ソレデ極ク脊ガ低クテ根ノ張ルヤウナ、サウ云フヤウナモノニハ僅カバカリデアリマスガ、試驗的ニ只今デモ許シテ居リマス、兩毛線トカ東海道線ニモ最近ニ許シマシタ、其結果ニ依リマシテ、害ガ無イ事デアレバ追々ト許シテ行ク考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ終リノ御話デアリマスガ、矩以來ニ土地ノ買収上帶狀ノ鐵道用地ガ殘ッテ居ル場所ガゴザイマス、山間デハ殆ド利用ヲ希望スルモノガゴザイマセヌガ、田畑ガ隣接シテ居リマス場所ニハ、其隣接ノ地方カラ局部々々デソレヲ使ヒタイト云フ事ヲ申出テ、許シテ居ルノモゴザイマス、又地方ノ團體ガ纏メマシテ其附近全體ノ土地ヲ借りタイ、斯ウ云フヤウナ出願ニ對シテモ、相當便宜ヲ圖ッテ居ルノデゴザイマス

○竹上藤次郎君 鐵道省ニ於キマシテモ、ソレ相當ナ利用法ニ就テ御考ガアリ、且又矩ノ上ニ試植ヲ行ッテ居ラレマスコトハ、今政府委員カラ仰セデアリマシテ能ク判リマシタ、私ハ此機會ニ、政府ニ於テ至急ニ御調査ニナリ、至急ニ是等ノ空地ニ對シテ相當ナ利用ノ方法ヲ實行シテ頂キタイト云フ希望ヲ述べテ、私ハ此質問ヲ打切りマス

○笠井政府委員 私ハ分科會ニ臨ム都合ガアリマスノデ、昨日澤君ノ御質問ニ只今御答ヲシテ宜シイデセウカ

○委員長(清水市太郎君) 折角御答ガアリマシテ、澤君ガ又ソレニ對シテ御尋シタイ事ガアルカトモ思ヒマスカラ、澤君ノ居ラレル時ニ願フ事ニシタラドウデセウカ、却テ雙方ノ御便宜カト思ヒマスガ、御用ノ御都合デ、今日ハ豫算ノ方ヘ御出デ下サッテモ宜イト思ヒマス

○長谷場敦君 只今ノ御答辯ニ依リマスト、從來ハ鑛業權ハ官有財産ニ入ッテ居ナカッタガ、是カラハ官有財産ニ入レル見込デアルト云フ御答デアリマスカラ、此場合朝鮮總督ノ政府委員ニ、朝鮮ノ鑛區ノ事ニ就キマシテ少シ質問シタイト思ヒマス、ソレカラ序

ニ二三御尋シタイト思フ、從來此府縣知事限リテ認可致シテ居リマスル貸下地等ガアルト思ヒマスガ、此案ガ成立シマシタ曉ニハ、是ハ總テ主務官廳ノ認可ヲ得ルコトニナリマスカドウデスカ、ソレカラモウ一ツハ、拂下地及貸下地ノ場合ニ、當局者トシテハ先願權苦クハ優先權ヲ認メラレル法律ヲ御拵ニナシテハ、御考ハアリマセヌカ、ソレカラモウ一ツハ、神社ノ不動産ハ官有財産ノ中ニ計上シテアルト此間ノ御説明デアリマシタガ、神社ニハソレト相當ノ不動産以外ニ動産ガアルダラウト思ヒマスガ、此動産ハドウ云フ風ニ保管サレ若クハ使用若クハ流用サレテアリマスカ、又其額等ヲ御説明願ヒタイ

○河本政府委員 只今ノ御質問ノ中ニハ、内務省ニ關係ノ事モアリマスガ、答ヘラレマスダケ御答ヘ致シマス、從來府縣知事ニ處分權ヲ委任シテ居ッタ事項ヲ、今度ハ之ヲ主務省ニ取上ゲルカト云フ御質問デアリマスガ、此雜種財産ノ取扱官廳ニ就キマシテハ、マダ從來ノ通りニ府縣廳デスカドウカ、確定シタモノハゴザイマセヌガ、將來ト雖モ總テ主務省ニ權限ヲ取上ゲルコト云フ考ハゴザイマセヌノデ、適當ノ範圍ニ於テ矢張地方廳ニ委任スル事ニナルダラウト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ優先權ノ御質問ハ、一寸判リ兼ねマシタデスカ

○長谷場敦君 ソレハ詰リ斯ウ云フ例デス、優先權ト思ヒマスガ、例ヘバ土地ノ貸下ヲ五箇年ノ期限ヲ以テ之ニ貸下ゲタ、所ガ或ル目的ノ爲ニ貸下ゲラレテ居ルノデスカ、五箇年ノ期限ガ來タ爲メニ、其貸下ガ若シ目的ガ十分ニ貫徹サレナイ中ニ、他ニソレヲ貸下ゲラレタ場合ニハ、從來貸下ヲ受ケテ居ッタ者ガ非常ナ不利益ニナル、是ハ斯ウ云フ例カラ私ハ考ヘル、鑛業權試掘權ノ如キハ、御承知ノ通り滿二年間ノ期限デ、其期限後十日間ハ優先權ヲ認ムルト云フ事ニ近ナッテ居ル、十日間優先權ヲ認メラレナイ以前ニハ、此點ニ就テ非常ニ行政訴訟モ起ルシ、又損害ヲ受ケタ者モ少ナクナカッタノデアアル、例ヘバ今月今日ノ期限デアルトシマシタナラバ、夜ノ十二時ニ其期限ガ來マスカラ、其場合ニ他ノ人カラ今マデ試掘權ヲ持ッテ居ッタ人ノ權利ヲ奪ハレル様ナ事ガ往々ニ

シテアル、ソレデ近來ハ鑛業條件ガ變リマシテ、期間後十日間ハ前ノ試掘權ヲ持ッタ者ニ優先權ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居ル、サウ云フヤウナ御考ハアリマセヌカ、ソレカラ先願權ノ事モ、競争入札ハ兎モ角モ、一定ノ價格ノモノヲ拂下ゲル場合ニハ、多數出願者ガアル譯デスカ、其場合最モ先キニ願出デタ者ニ此優先權ヲ——先願權ヲ認メルト云フ様ナ方法ノ手續ニナッテ居ルノデゴザイマス、御答ニナル必要モナイガ、是モ鑛業法令ニ依リマス、全ク此先願權ヲ認メルト云フ事ニナッテ居リマスガ爲メニ、幾ラカ從來ノ困難ヲ除カレハシナイカト思フノデアリマス

○河本政府委員 貸付ノ場合ニ於キマシテ、前ニ借リテ居ッタ人ノ優先權ノ御尋デゴザイマスガ、之ニ就キマシテハ第十五條ノ第二項ニ、貸付期限ハ更新シ得ルト云フ規定ヲ今度設ケタノデアリマス、從來借リテ居ッタ所ノ人ガ期限ガ切レサウニナッタ場合ニ於テ、ソレヲ取ラレテハ困ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、其申込ニ依リマシテ更新契約ヲ——更新スルト云フコトニ致シマス積リデ、此第二項ヲ置キマシタ次第デアリマス、隨テ此場合ニ於キマシテハ、前ノ優先契約ガシテアリマス、其期限ガ切レル前ニ更新ヲ契約ヲシマシテ、サウシテ又其人ニ貸シテヤルト云フコトニナリマス、是以外ニ別ニ優先權ヲ與ヘル必要ハ無イト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ先願權ヲ認メルカト云フコトデゴザイマスガ、此國有地何カノ賣拂ト云フ事柄、多クハ此更新契約ニ依ル性質ノモノデアリマシテ、前ニ一番初ニ願出タ者ガ優先ノ權利ヲ持ツコトハ、面白クナイト考ヘマシテ、矢張競争契約ニ依ッテ、一番高イ希望者ニ與ヘルト云フコトガ相當デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ神社ノ不動産及動産ガアルカト云フ御質問ノヤウデゴザイマシタガ、神社ノ境内地ト云フモノハ國有地ニナッテ居リマスガ、其他境内地デアリマス、況ヤ其他ノ動産ノ如キモ、隨山アルノデアリマス、況ヤ其他ノ動産ノ如キモ、隨分色々ノモノガ神社ノ收入トナッテ居ルト考ヘマス、尙ホソレ等ノ詳細ノ事ハ、内務省ノ方ノ政府委員ガ説明ナサル方ガ宜シカラウト思ヒマス

○長谷場敦君 只今第十五條ノ貸付期限、之ヲ更新シ得ルト云フ場合ヲ御話ニナッタヤウデアリマスガ、是ハ私ガ現ニ一例ガアルカラ尙ホ御尋スルノデアリマスガ、單ニ此更新シ得ルト云ダケデハ、少シク不十分ナ點ガアルヤウデアリマス、其時ノ政府者ノ考ニ依リマシテ、其期限ニ際シマシテ、濫ニ之ヲ他ニ貸下ゲ變更スルト云フコトハ、必ズシモ不可能ノ事デハナイト思ヒマス、サウ云フ場合ヲ防グ爲メニ、今ノ優先權ガ必要デハナイカト思フノデアリマス、是ガ私ノ唯ダ考デゴザイマス、孰レ又後デ御尋スルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ其今ノ神社ノ動産云々ハ、先刻御尋シマシタ通り、現在其動産ガアルノナラバ、ソレガ何ニ屬シテ居ルカ、ドノ位キ經ツタナラ——ソレカラドウ云フ風ニ保管シテアルカ、或ハドウ云フ風ニ使用サレテ居ルカト云フコトノ御答辯ヲ願ヒタイ

○委員長(清水市太郎君) 内務省ノ政府委員ハ豫算委員會ノ方デ差支ヘテ來レヌヤウデアリマスカラ後ニ……

(後デモ宜シウゴザイマス、ソレデハ朝鮮總督府ノ「ト呼フ者アリ」)
○委員長(清水市太郎君) 各植民廳ノ各政府委員ハ、誰モ來テ居リマセヌヤウデアリマスカラ、ドウゾ左様……
○伊藤廣幾君 樺太長官ガ見エテ居リマス
○竹上藤次郎君 其間ニ一寸御尋ネ致シマス、モウ一度柴田局長ニ伺ヒタイソデアリマスガ、神社ガ官有トナリマシタ場合ニ——此頃寺院ノ移轉ガ非常ニ行ハレテ、寺院側ノ希望ト致シマシテハ、隨分移轉ヲ希望致シテ居リマス、ソレハ段々繁華ナ所ニ寺院ガ出來マシテ、其寺院ノ場所ガ非常ニ繁華ニナッテ參リマス爲メニ、隣ニ活動小屋ガ出來ルトカ、或ハ劇場ガ出來ルトカ云フヤウナ風デ、或ハ一坪三百圓モ五百圓モスルヤウナ所ニ畑地ガ真中ニ在リマシテ、サウ云フヤウナ工合ニ非常ニ移轉ヲ希望致シテ居ル所デゴザイマス、若シ官有地ニナリマスルト其移轉ノ場所ニ、移轉ガ出來ルモノデアリマス、ドウ云フ御考デアリマス、又移轉ヲ致シマシテモ、其ノ差額ヲ

○委員長(清水市太郎君) 内務省ノ政府委員ハ豫算委員會ノ方デ差支ヘテ來レヌヤウデアリマスカラ後ニ……

初ノ寺院ニ吳レテヤル御考デアリマスカ、一寸伺ヒ
タイノデアリマス、ソレカラ尙ホモウ一ツハ境内ガ
非常ニ大キナ境内ヲ持ッテ居ル寺院ガ澤山アリ
マス、其境内ニ唯ダ其處ニ風致林ヲ植エルトカ、或ハ
石ヲ置クトカ云フ工合ニ、其處ガ多少トモ收益ガ上
ルベキ箇處デ、田畑ニスルトカ、或ハ果樹ヲ植付ケ
テ、其收入ヲ以テ寺院ノ維持費ニ充テルカト、或ハ説
教費ニ充テルトカ云フヤウナ、布教ノ費用ニ充テ
ト云フコトハ、今ノ規則デアハ出来ナイ、サウ云フ事ヲ
御許シニナル御意思ガアリマスカドウカ、一寸之ヲ
伺ッテ置キマス

○柴田政府委員 御答致シテ置キマス、先程此委員

會ニ於キマシテ、寺院合併ノ年月ハ、三十二年、三十
三年ト申シテ置キマシタガ、ソレハ三十九年デゴザ
イマシテ、私ノ記憶違ヒデアリマス、訂正致シテ置キ
マス、ソレカラ只今御尋デゴザイマスガ、御尤モナ御
尋デアリマスガ、是ハ只今ノ所此官有國有デアリマ
スルト、其寺院ガ自由ニ移轉ヲシヤウト云フコトハ、
今ノ儘デハ困難デアラウカト思フ、尤モ第十八條ニ
當ルヤウナ場合デゴザイマスレバ、ソレハ移轉スル
際ニ第十八條ニ當ル様ナ場合デアリマスレバ、相當
ノ途ガ付デアラウガ、其他ノ場合ニ於キマシテハ、
一寸困難デアラウカト思ヒマス、十八條ニ當ル場合
ト申シマスレバ、詰リ何カ此土地收用法ノ問題等ノ
起ル様ナ場合、公共——公營事業ニ供スル爲メニ必
要ヲ生ズルガ爲メニ、一部或ハ其境内地ノ一部分ガ
其方ニ取ラレル、其爲メニ此寺院佛堂等ガ現在ノ場
所ニ居ルコトガ出来ナイト云フ様ナ場合ガ生ジマス
ト、此第十八條ニ依テ契約ヲ解除スル事ガ出来ルカ
ト思ヒマス、斯ウ云フ場合デナイモノニ就キマシテ
ハ、唯ダ移轉ヲスルカラト云フノデ、其官有地ヲ寺院
ニ讓與スルト云フ規定ガアリマセヌカラ、是ハ困難
デアラウト思ヒマス、併シ只今御話ノ通り、色々ニ社
會狀態モ變リマスカラ、サウ云フ必要ノ生ズル場合
モ段々アラウカト思ヒマス、且ツ寺院等カラ色々讓
與ノ請願ガ出テ居ルノデアリマス、之ニ就キマシテ
ハ文部省ニ於キマシテモ色々考慮ヲ致シテ居リマス
ルノデ、ソレデハ餘リ明ナル事ヲ私ハ今申上ゲル

事ガ出来マセヌガ、宗教ニ關スル法規ノ十分備ッ
ウナモノデモ出来ル際ニハ、何トカ斯ウ云フ問題ニ
就テモ、同時ニ一ツ十分考慮ヲ加ヘタイト、斯ウ考ヘ
テ居ルノデアリマス、只今ノ所ハソレダケノ事デゴ
ザイマス、ソレカラ境内ヲ減縮スルト云フヤウナ事
ハ、中々容易ニ出来ヌコトニナッテ居リマス、此境内
地ニ關スル事モ、寺院ニ關スル法規ガ何レ宗教法規
ノ一部分ニナルデアラウカト思ヒマス、サウ云フ際
ニハ、相當サウ云フ點モ研究シナケレバナラヌ、現ニ
研究シツ、アルノデアリマスガ、一寸只今ノ所ハマ
ダサウ云フ事ガ自由ニ出来ルヤウナ途ガ付イテ居リ
マセヌ

○竹上藤次郎君 實例トシテ、京都ノ京極ノヤウナ

所ニ墓地ガアリマシテ、アレハ殆ド困ッタモノデア
ト私ハ素人考デモ思ッテ居リマスガ、果シテ移轉ガ出
來ヌト云フ事ニナルト、國家經濟カラ見テモ、甚ダ不
利益ノ事デアラウト思ヒマス、又其寺院ニシテモ、隣
ニ活動小屋或ハ其他ノ賑カチモノガアッテ、殆ド其
所ニ說教モ出来ナイ事ニナッテ居リマス、一坪約千圓モ
スルヤウナ所ニ墓地ガアッテ、其墓地ヲ其所ニ存續サ
セテ置カナケレバナラヌト云フヤウナ道理ニ合ハヌ
事ガ出来テ居リマス、是等ノ移轉ニ關スル事ニ就テ
ハ、尙ドウゾ至急何カノ方法デ出来ルヤウナ途ヲ講
ジテ頂キタイト斯様ニ思ッテ居リマス、又境内ノ餘分
ノ所カラ收益ヲ擧ゲルト云フヤウナ事モ、關係者カ
ラ見テモ、寺カラ見テモ、不經濟ノ事デアリマスカ
ラ、空地ニハ果樹ヲ植付ケルトカ、何トカ收益ヲ擧
ルヤウニシテヤルガ宜カラウト思ヒマス、現今食糧
問題ノ起ッテ居ル場合ニ、空地ヲ持ッテ居ッテ、ソレガ
何等利用サレテ居ラヌト云フ事ニ就テハ、一番貴方
ノ方ニ攻撃ガ來ハセヌヤト思ヒマス、是モ至急何等
カノ方法ヲ講ジテ頂キタイト思ヒマス、是ダケノ希
望ヲ述ベテ置キマス

○長谷場敦君 大體ソレデスガ、併シ建物トカ土地
トカ云フモノハ既ニ財産ニ計上シテアルデセウカ、
其以外ニ——

○山田政府委員 神社ニ就キマシテハ、神社財産法

ト神社會計規則ト云フモノガアリマス、神社ハ此國
有財産法ノ趣旨デ御覽下サイマス通りニ、國ノ設備
ト云フ事ニ看テ居リマスルカラ、其會計ニ就テモ、宗
教ノ寺院トカ教會ノ會計トハ異ッテ、國デ會計規則ヲ
定メル、ザウシテ其規則ニ依ッテ一定ノ金ヲ積立テナ
ケレバナラヌ、或ハ豫算ハ地方長官ノ認可ヲ經ナケ
レバナラヌト云フヤウナ色々會計ノ規則ガ出来テ居
リマス、其規則ニ依テ豫算ヲ作り收支ヲ致シテ居リ
マス、餘ッテ居レバ基本金トシテ積立テル、其基本金
ニモ色々種類ガアリマスガ、今實ハ法規ヲ持ッテ居
マセヌカラ細カイトハ申上ゲラレマセヌガ、神社
會計規則ト云フモノガアリマシテ、ソレニ依テ扱ッ
テ居リマス、一方デハ神社財産法ト云フモノガアッテ神
社ノ財産ハ許可ヲ得ナケレバ處分ガ出来ナイ、許可
ヲ得ズシテ處分ヲシタモノハ無効デアルト云フ法律
ノ規定ガアリマシテ、其規定ニ依テ扱フコトニナ
ッテ居リマス、其點ハ神社ハ一般ノ宗教ト大變趣ヲ異
ニシテ居リマシテ、人格アル獨立ノモノトシテ——
國トハ違ヒマスガ——國ノ事務ト同様ニ國ノ規則
ニ依テ扱ッテ居リマス、ソレハ總テノ神社ガサウデア
リマス、ソレカラモウ一ツ先程地方長官官舎ノ事ニ
關シテハ一寸辯明シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ
此機會ニ一寸辯明シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ
固ヨリ大キ過ギルモノガアレバ、之ヲ整理スルト云
フコトニ就テハ、異論ノアラウ筈ハアリマセヌガ、大
キ過ギルカドウカト云フコトヲ御判斷ヲ願フ際ニ
ハ、多少斯ノ如キ事情モアルト云フコトヲ考ヘテ置
イテ頂キタイト思フ事ヲ一寸申上ゲマス、ソレハ或
點ニ就テ大キ過ギルト云フ話ガアルコトハ、私モ聞
イタ事ガアリマスガ、某縣ノ知事ノ話ヲ一寸聽イテ
見マスルト、斯ウ云フ事ヲ申シテ居リマス、ソレハ丁
度開港場ト知事デアリマシテ、普通一寸見レバ大キ
過ギルヤウデアアルガ、矢張天長節ノ際ハ領事ヲ總テ
招待シテ夜會ヲ開クト云フコトガ、開港以來ノ慣例

デアッテ、年々行ッテ來テ居ル、所ガ段々領事ノ數モ殖エテ、平常見レバ大キイヤウデアアルガ、領事ノ數ダケデモ這入り切ラヌ、非常ニ狭クテ困ッテ居ルト云フヤウナ話ガアッタノデアリマス、ソレハ一例デアリマサルガ、單純ナ住居トシマス、廣過ギルヤウナ場合デモ、極ク稀デハアルガ、大キクナケレバナラヌヤウナ場合ガ屢々アリマス、此點ハ十分御考慮ヲ願ヒタイ、サウ云フ事ヲ考ヘタ上ニ、尙ホ廣過ギルモノガアレバ、ソレハ整理スルト云フコトハ異論ガ無イ次第デアリマス、一寸其事ヲ申述ベテ置キマス

○長谷場敦君 只今ノ御答辯ニ依ルト、神社會計規則ト云フモノガアルカラ、ソレニ依テ施設スルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、サウ致シマス、此國有財産ノ會計上シテアル神社ノ境内若クハ其以外ノ土地建物ハ、國有財産ニ屬シテ居ッテ、ソレ以外ノモノハ神社會計法ニ屬シテ居ルト云フヤウナ御説明デスカ

○塚本政府委員 境内ニハ官有地ガ大分アリマス、官有地デアアル限り此國有財産法ヲ支配ラ受ケル事ニナルノデアリマスガ、境内ニモ社寺有ノガアリマス、又民有ノモアリマス、ソレカラ境内外ノ財産ハ是ハ神社ノ財産デアリマシテ、國ノ財産デアリマセスカテ、今ノ神社財産ト神社會計規則ノ支配ラ受ケテ、國有財産法ノ支配ラ受ケナイト云フコトニナッテ居リマス、神社ノ使ッテ居ル財産ノ中ノ國有財産ハ、國有財産法ノ支配、國有財産外ノ神社ノ持ッテ居リマスルモノハ、神社財産法ヨリ出來タ會計法ニ依ッテ支配サレテ居ル、斯ウ云フ事ニナッテ居リマス

○長谷場敦君 サウ致シマス、其神社會計法ニ屬スルモノハ、神社ガ自由ニ處分シ得ルコトニナリマス、或ハ内務大臣ノ監督權ニ屬シタモノデアリマス

○塚本政府委員 只今申上ゲマスヤウニ、神社財産法デ地方長官ノ許可ヲ得ナケレバ處分出來ナイ、許可ナクシテ處分シタ場合ハ無効デアルト云フヤウナ規定ガ神社財産法ニアリマス、其規則ニ依ッテ處分スルコトニナッテ居リマス、年々ノ收支ハ會計規則ニ依ッテ收支スル、斯ウ云フ事ニナッテ居リマス

○長谷場敦君 判リマシタ

○委員長(清水市太郎君) 伊藤君、臺灣朝鮮ノ政府委員ガ見エマシタ

○伊藤廣幾君 樺太デス

○委員長(清水市太郎君) 樺太ノ政府委員ハ豫算ノ方デマダ一寸來ルコトガ出來ナイ

○澤來太郎君 昨ハ昨日内務省所管北海道ノ事ニ就キマシテ宿題ヲ提出致シマシタ、ソレニ對スル御答ヲ拜聽致シタク存ジマス

○委員長(清水市太郎君) 北海道長官ニ對スルコトハ、先刻長官ガ見エラレタガ、貴方ガ御在デデアリマセヌ爲メニ、貴方ノ御在デノ所デ御答ナサル方ガ宜カラウト云ッテ行カレマシタ

○澤來太郎君 ソレデヤ一寸委員長——北海道長官ノ御見エニナリマス、前ニ於テ、茲ニ改メテ農商務當局ノ政府委員ニ對シテ御尋ヲ致シテ見タイト思ヒマスガ、御出席ニナッテ居リマス

○委員長(清水市太郎君) 農商務省ノ政府委員ハ今

○澤來太郎君 若シマダ御出席ガアリマセヌケレバ、ソレハ繰延事業デハアリマセヌガ繰延ベマシテ、神社局長ガ御見エニナッテ居ルヤウデアリマス、カテ、神社ノ事ニ就テ御伺ヲ致シテ置カウト思ヒマス、其事ハ要スルニ本案第二十四條ニ關スル事デアリマスカ

○委員長(清水市太郎君) 澤君、神社局長デヤアリマセヌ宗教局長デス

○澤來太郎君 宗教局長デスカ、ソレデヤ間違ッテ居リマシタ、其方カラノ御答デ宜シウゴザイマス、此第二十四條ノ中ニ其第二項ニ於テ「寺院又ハ佛堂ノ上地ニ係ル雜種財産ハ」云々ト云フコトノ規定ガアリマスガ、之ニ「寺院又ハ佛堂」トノミアリマシテ、神社ガ見エマセヌノハ甚ダ吾々ハ其當ヲ得テ居ラヌヤウニモ考ヘラレノデゴザイマス、何トナラバ明治三十二年十二月發布ノ太政官ノ布告ニ依ッテ見マス、ト云フ「社寺領地現在境内ヲ除クノ外一般上知云々トアルノデアリマス、サレバ此土地ニ係ル土地ハ、寺院ニ若クハ佛堂ノミニ限リマセヌノデ、神社ノ中ニモ矢

張上地ニ係ルモノガ多イノデアラウト思フノデアリマス、然ルニ神社ガ寺院ト平等ニ此餘澤ヲ蒙ルベキガ至當デアラウト思ヒマス、此ニ此神社ノ一切除却致シマシテ、唯ダ寺院ノミニ此特典ヲ與ヘルヤウニ見エルノデアリマスガ、是ハ等シク上地ニ係ッテ居ルモノデアリマスニ拘ラズ、一ハ恩典ニ浴シ、一ハ恩典ニ浴シナイト云フヤウニモ見エルノデアリマス、此事ニ關シテドウ云フ御見解御意見ヲ有セラレテ居ルカ、ソレヲ御伺スルノデアリマス

○河本政府委員 只今ノ御質問ハ神社ニ對シマシタハ、第二條ノ第二項ノ方ノ公用財産ト云フ中ニ、神社ノ敷地、境内地ハ公用財産ト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス、即チ神社ハ寺院佛堂ト違ヒマシテ、國ノ神ヲ祀ルト云フ事務ニ供スル所ノ詰リ一ツノ營造物デゴザイマス關係上、之ヲ他ノ事務ニ用ユルモノト同ジヤウニ公用財産ト云フコトニ致シマシタ次第デゴザイマス、隨テ明治初年上地サレマシタ所ノ神社ノ土地ト云フモノハ、是ガ神社ノ用ニ供スル爲メニ必要ナル場合ニ於キマシテハ、國ガ假令上地デアラウトアルマイト、神社ノ境内地トスル必要ガアル、公有地ハ是ハソレト、神社ノ境内地トスルト云フコトニ別ニ法規ニ違反抵觸スル所ガアリマセヌ限リハ、其用ニ供スル次第デゴザイマシテ、特ニ此二十四條ノ第二項ノ如キ規定ヲ置ク必要ハ無イト云フ考デ、此二十四條ノ第二項ニ「其「寺院又ハ佛堂」ト云フコトニ限ッテ次第デゴザイマス

○澤來太郎君 只今御答ニナリマシタ第二條ノ第二項公用財産云々ノ事ハ、是ハ唯ダ國有財産ヲ分類シタル項目ニ過ギマセヌノデ、此財産ノ即チ處分ニ關スル規定トハ時ヲ同ジウシテ語ルベキモノデナイヤウニ思ハレル、繰返シテ申シマスガ、第二條第二項ノ如キ、是ハ國有財産ヲ分チテ左ノ四トスルト云フコトデ、分類ラシタニ過ギマセヌ、是ハ皆内容性質ヲ異ニシテ居リマス、分類ハ是デ宜イ、寧ロ是ハ從來ニ比シテ完全ノ分類ト思フケレドモ、是ガ處分ヲ規定スル時ニ當リマシテ、矢張此分類ノ中ニ就キ、其性質ニ依テ處分規定ヲ異ニシナケレバナルマイト思ヒマスガ、遺憾ナガラ此點ニ就テ、缺點トシテ強クハ

申シマセヌガ、何トナク缺クル所アルカノ如ク思ハ
レル、何トナレバ特ニ此ノ寺院佛堂ノミニ對シテ上
地ニ係ルモノハ斯様ニスルト云フ寛大ノ規定ヲシテ
居リナガラ、等シク上地ニ係タモノナルニ拘ラズ、
神社ノ方ハ省イテアルト云フノハ如何ナル理由デア
ルカ、實ハ自分モハッキリシタ意見ハ持ツテ居リマセ
ヌガ、大ニ惑ッテ居リマス、ソレ故ニ重ネテ質問致シ
マスガ、是ハ處分規定トシテハ自カラ違ハナケレバ
ナルマイト思ヒマスガ、ソレニ就テノ御意見ハ如何
デアリマスカ

○河本政府委員 神社ニ於キマシテハ、上地ニ係ル
モノデアラウトアルマイト、神社ノ用ニ供スル爲メ
ニ必要ナル境内地ハ總テサウ云フ風ニスルノデゴザ
イマス、隨テ上地ニ係ルモノト制限スルヨリモ、寧ロ
制限シナイ方ガ、神社ニ對シテハ謂ハバ恩典トナル
ヤウナ次第デアリマシテ、特ニ寺院佛堂ダケニ恩典
ヲ與ヘテ、神社ニハ恩典ヲ與ヘナイト云フ譯デア
リマセヌ

○澤來太郎君 我國體ニ於キマシテハ、各員ノ御承
知ノ通り、先ヅ神祇ヲ祀ツテ而シテ後ニ政治ヲ行フベ
シト云フ他國ニ類例ノ無イ所ノ美ナル歴史ヲ有シテ
居リマスカラ、神社ト云フコトニ重キヲ置クト云フ
コトハ勿論ノ事デアアル、畢竟其處ニ重キヲ置カレタ
ル結果ガ、斯様ナ規定ニナツタト思ヒマスガ、其點ニ
於テハ決シテ吾々人後ニ立ツ者デハアリマセヌ、然
ルニ同ジク神社ト申シマシテモ、其間ニ格ヲ異ニシ
テ居ルノデアリマス、即チ此處ニ規定サレマシタ神
社ハ、其格ノ如何ニ拘ハラズ、神社其他神社ナラザル
社モアルノデアリマス、一體神社ト稱スル以上ハ、廣
ク包含サレタモノト申シテ宜シウゴザイマセウカ、
是モ伺ヒタイ、ソレカラ只今ノ御答ニ依ツテ寺院同様
上地ニ係ルモノニ對シテハ、自カラ敢テ明確ニ規定
致サヌデモ、自然ニサウ云フコトニナルト云フコト
デアリマスガ、ソレナラバ私モ異議ハアリマセヌ、唯
ダ神社ト云フモノニ對シテハ、格ノ如何ニ拘ハラズ、
格外ノ神社デアツテモ、悉ク所謂一視同仁ニ御覽ニナ
ルノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○西野政府委員 寺院又ハ佛堂ノ用ニ供シマスモノ
ノ外、神社ノ用ニ供シマスモノニ於キマシテモ、凡ソ
是等ノ用ニ供スルト云フノハ、御承知ノ通り境内ト
シテ使用スル場合ヲ云フノデアリマス、隨テ無格社
ノ如キ神社ニ於キマシテハ、之ヲ格ノ高キ神社ニ比
スレバ、自カラ其用ニ供スルト云フ即チ境内ノ廣狹
ニ於テ差ハアルト思ヒマス、併ナガラ先般内務省ノ
政府委員ヨリ御答申シマシタ通り、無格社ニ至ルマ
デ、國法上之ヲ國ノ造營物ト見ル、公ノ營造物ト見テ
居ル以上ハ、其ノ用ニ供スル必要アル以上ハ、矢張格
ノ高イ神社ノモノト、其間ニ於テ何等差ハナイノデ
アリマス、ソレデ他ノ政府委員ヨリモ御答申シマシ
タ通り、寺院佛堂ハ是ハ國ノ公ノ機關ト見テ居リマ
セヌカラ、其用ニ供スルモノハ國有地ヲ其儘無償デ
之ニ貸付スル一種ノ私的關係デアリマス、公益ニ關
係スルコトガ重大デアルカラ、無償デ貸付ヲシタモ
ノト見ル、併ナガラ神社ノ境内ハ國ノ公ノ用ニ供ス
ルモノト云フノデアアルカラ、是ヲ貸付ト云フ私的關
係ト見ズシテ、國ガ公用ニ供シテ居ルモノト見ルノ
デアリマス、故ニ現在神社ノ用ニ供シテ居ルモノノ
外、現在神社ノ用ニ供シテ居ラヌ土地ヲ、境内ニ編入
スル必要ガ將來起ツ場合ニハ、是ハ恰モ學校ノ敷地
トシテ使フ、或ハ官廳ノ敷地ニ編入スルト同ジヤウ
ニ、國ガ其必要ニ應ジテ國ノ見ル所ニ依ツテ公有財產
ニ編入スルノデアリマス、二十二條ノ寺院又ハ佛堂
ニ貸付ナルト云フヤウナコトデナク、公用ニ供スル
ト云フノデアリマスカラ、其間ニ餘程ノ違ヒガアリ
マス、而シテソレハ上地セシメタモノハ勿論、其他ノ
モノデモ國ニ於テ必要ト認メタ以上ハ、之ヲ神社ノ
境内ニ編入スル、斯ウ云フ意味ト御了解願ヒマス

○澤來太郎君 只今ノ御答ニ依リマシテ、稍々私ノ
疑ガ氷解致シマシタ、唯ダ僅ニ違ヒマス事ハ、國家ガ
神社ノ格ヲ認メテ居ル範圍ノ神社ナラバ、即チ公用
ト見ルノガ相當デアラウガ、無格社即チ神社ニモア
ラズ、又部落ノ氏神様ノヤウナモノ、其他色々ノ社ガ
澤山アリマス、併ナガラ神様ト云フモノハ人間ト違
ヒマシテ、格ノ等級ニ依テ、其實質ガ有難イトカ有難
クナイトカ云フ有難味ニ厚薄ノアルモノデアアルマイ
カラ其實質ノ上カラ國民ニ敬神ノ思想ヲ涵養スルト

云フ上カラ見レバ、素ヨリ社格ノ高キ低イト云フコ
トナク、平等ニ見ルベキモノデアラウ、其意味ニ於テ
有格社無格社共ニ社ニナツテ居リマス所ノモノハ、悉
ク公有財產ト見テ宜シイノデゴザイマスカ、其點ヲ
今一應

○西野政府委員 先刻モ申上ゲマシタ通り、私ハ神
社行政ノ事ニハ甚ダ暗イノデアリマスガ、苟モ神社
ト云フ名稱ヲ用ヒテアリマスモノハ、總テ國有ノモ
ト考ヘテ居ルノデアツテ、先刻モ左様御答ヲ致シマ
シタガ、内務省ノ政府委員ノ法理的ノ説明ニ依リマ
スレバ國幣社、官幣社、縣社、村社、郷社ノ外無格社マ
デ含ムト云フ事デ、皆様ノ御了解ヲ得タヤウデアリ
マスガ、私ハ尙ホソレヲ十分ニ説明スルダケノ神社
行政ニ關シテノ智識ヲ有ツテ居リマセヌカラ明カナ
御答ハ出來マセヌガ、唯々神社ト云フ名サヘ付ケレ
バ、吾々ガ勝手ニ自分ノ邸宅ニ祀ツテモ、神社ト云フ
事ハ出來ナイト思ヒマスカラ、公ノ性質ヲ持ツモノ
ト思ヒマス、無格社ト云フ社ト云フ以上ハ、神社デア
リマシテ、無格社ト云フノハ、即チ無格社ト云フ神社
デナケレバナラス、苟モ神社ト云フコトヲ私ニ名付
ケテモ宜シイト云フ意味デハ無論ナカラウト思ヒマ
ス、隨テ官國幣社、縣社、村社、郷社ト云フモノ、外ニ
無格社ト云フモノ、範圍ガドレダケデアアルカ、正確
ニ御答ハ出來マセヌガ、國家ガ公ニ認メテ神社ト稱
スルモノデナケレバナラヌト思ヒマス

○澤來太郎君 私ハ無論政府委員ニ考慮ノ時間ヲ與
ヘルコトヲ望ムノデアリマスカラ、次回デモ宜シイ
ノデアリマスガ、若シ此點ニ就テ万一一ニモ遺憾ガア
リマス、將來ニ累ヲ貽スノデアリマスカラ、大藏政
府委員ノミナラズ、御關係ノ政府委員ト能ク御打合
セ下サツテ此規定ニ不備ノ點ガアリマスルナラバ、政
府自ラ御改メテ願ヒタイノデアリマスシ、又此法案
ノ條項ヲ増シタリ減シタリスル程必要ガ無イト云フ
事デアリマスルナラバ、討議ニ入りマス時デモ宜シ
ウゴザイマスカラ、或ハ勅令ヲ以テ此加減ヲ御取リ
下サルノデ宜シウゴザイマス、ドウカ悠ク御考ヘ
下サイマシテ、成ベク了解致シマスヤウニ御答アリ
テ置キマス——丁度北海道長官ガ御出席ノ様デアリ

マスカラ、昨日私ヨリ宿題トシテ呈シテ置キマシタ
質問ニ對シテ、成べく簡單ニ要領ダケヲ御答ヲ願ヒ
タイノデアリマス

○笠井政府委員 昨日ノ澤君ノ御質問ハ、斯様デア
ッダヤウニ思ヒマス、拂下出願希望者ガ多數デアレバ
アル程優良ナル者ヲ選抜スルコトガ出來ルノデ、其
多數ハ最モ結構デアアルニモ拘ラズ、其場合ニ公入札
ヲシテ處分スルコト云フ事ハ、ドウ云フ必要ガアルモ
ノデアルカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ心得マス、此問
題ニ就キマシテハ、實際ノ場合ニハ掛員其他ノ者ガ
見マス、ドウシテモ是ハ公入札ニスルノガ適當デ
アラウト云フコトヲ決スルノハ、餘リ六ヶシイ事デ
アリマセヌ、ト云フノハ、是ハ實際問題ニ依ッテ解決セ
ラルベキモノデアリマシテ、唯ダ議論ヲ以テ此點ハ
必要デアルヤ否ヤト云フコトヲ御話スルコトハ、或
ハ御判リ惡イカモ知レヌノデアリマス、併シ大體ヲ
申シマス、極メテ出願者ガ多數デアル場合ニ起キ
マスノデ、併シ競願者ノ多數デアルト云フ事ダケデ
ハ言葉ガ足りナイノデ、多數デアッテ、其中ニハ拂下
ノ條件ヲ全ウシ得ラレルト認メラレルモノガ多數包
含サレテ居ル、其場合ニ拂下ノ施行細則勅令第二條
ガ働キ出スノデアリマス、ソレハサウ云フ種類ノ者
ガ多數デアリマス、其選擇ニ極メテ困難ヲ生ジ
マス、困難デアッテ、事ニ依ルト殆ド選擇ノ出來ナイ
事ガアル、是ナラバ拂下ヲシテ適當デアルト云フ者
ガ、五十人カラ百人ト云フヤウナ數ニ達スルコトガ
アルノデアリマス、何レヲ適當ト看做シテ宜シイカ、
其邊ノ判リ兼ル場合ガアリマス、其場合ニ拂下ヲ廢
スルト云フ譯ニモ行カズ、選擇ハ困難デアルト云フ
場合ニ遭遇ヲ致シマス、其時ニハ已ムヲ得ズ
公入札ニシテ之ヲ處分スルコト云フコトニシテ居リマ
ス、一例デアリマス、斯ル場合ニ逢著スルノデアリ
マス

○澤來太郎君 只今ノ御答ハ、半バ私ノ質問ニ御副
ヒ下サッダヤウデアリマスガ、其一半ハ甚ダ私ノ御
尋申ス所ニ反シテ居ルト思フ、昨日私ヨリ御尋ヲ申
上ゲタ要點ハ、現在ニ於テ此未開地ヲ處分スルニ、

其方法ハ何レノ方法ヲ執ッテ居ルカト申セバ、特賣拂
下ノ方法ヲ執ッテ居ラレル、然ルニ此特賣拂下ナルモ
ノハ、頗ル繁瑣ナル手數ト時間ヲ要スルバカリデナ
ク、動モスレバ情實ノ弊ニ陷ル事ガ往々アルト云フ
コトハ御判リノ事デアリマセウシ、又世間具眼ノ士
ガ觀破シテ居ル、觀破ト申シマス、先ヅ其一例ヲ申シマ
ス、一個所ノ特賣公告ニ對シテ二三百人ノ出願者
ノアルヲ常トシテ居リマス、多キニ至ッテハ昨日長官
ヨリノ仰セモアリマシタ通り、七八百ヲ超エル時ガ
アル、サウ云フ多數ノ出願者ノアッタ場合ニハ、矢張
御職務上トシテ御面倒デアッテモ一々其出願者個人
個人ニ就テ其身元ヲ調べテ、決定事由ナルモノヲ調
査致サナケレバナラス、其ノ煩瑣ヤ實ニ驚クベキモ
ノアリト私共ハ思フノデアリマス、現ニ長官ノ告白
セラレタ通り、サウ云フ場合ニハ到底一々身元調査
ヲスルコトガ不可能デアルカラ、斯カル場合ニハ、
斷然特賣方法ヲ中止シテ公賣ノ方法ニ立戻ッテ入札
ノ方法ヲ執ッテ居ル、斯ウ云フ事ハ如何ニモハ長官
ノ御人格トシテ正直ナル事ヲ告白サレタモノト拜聽
シタノデアリマス、ソレガ必ズシモ不穩當デアルト
カ何トカ非難ヲスル譯デハゴザイマセヌ、ソレガ即
チ特賣競願拂下ノ法規ノ意味ヲ爲サザルコトニ歸ス
ル所以デアアル、何故ナラバ多クノ人々ニ競願サセル
ト云フコトハ、數多イ中ヨリ更ニ宜イモノヲ選出シ
テ、之ニ御認可ヲ與ヘルデアルカラ、多々益々辨ジナ
ケレバナラス、千人ヨリモ二千人ナランコトヲ望ム、
二千人ヨリ三千人ノ方ヲ御望ミニナルコソ、私ハ相
當ニシテ又競願方法ノ精神デアルト思フ、所ガ實際
ニ之ヲ行ッテ見マス、千人ハ愚カ七八百人モアル
ト、到底一々身元調査ト云フコトハ不可能デアアル、
數多キヲ欲シテ定メタル所ノ特賣方法ナルモノハ何
ノ意味ガアル、全ク無意味デアアル、出願者ガ多ケレ
バ調査ガ届カナイ、ソレデ公賣ニスルコト云フナラバ、
特賣方法ヲ設ケタ精神ハ全ク滅ビテ仕舞フト云フコ
トガ第一、ソレカラ第二ハ多クノ出願者アルガ故
ニ、隨テ情實運動ト云フモノガ頗ル猛烈ヲ極メテ居
ルト云フ事デアアル、是ハ私ハ唯ダ想像ヲ逞ウシテ申

上ゲルノデゴザイマセヌ、前ノ拓殖部長ニ就テ親シ
ク其御談話ヲ拜聽シタ折ニ、澤君實ニ驚イタ、人間
官吏トナリ拓殖部長タル程不幸ナモノハナイト思
フ、斯ウ云フコトデアアル、必ズヤ長官モ心竊ニ此部
下ニ對シテ御同情ガアラウト思フ、何故ソレ程御迷
惑デアアルカト反問致シマス、所ガ、部長曰ク「朝未
明カラ自宅ヲ訪問サレル、サウシテ居ル中ニ續々押
掛けテ來ラレルカラ、道廳ニ出勤スルコトガ何時モ
定刻ニ出來ナイ、漸ク其間ヲ盜シテ道廳へ出勤シテ
常務ヲ執ラントスル、更ニ今度ハ道廳ニドン」
訪問シテ來テ、其送迎ニ違アラザル有様デアアル、是
ハ獨リ任地ニ在ル時許リデナク、議會杯ガ開ケテ中
央ニ出張スルト、何處カラ聞クモノカ偵察ヲ爲シテ
居ルモノト見エテ、宿屋ニドン」訪問シテ來テ、
中央ノ公務ヲ辨ズルコトガ、不可能ナ場合ガアル」
云々、如何ニモ私ハ氣ノ毒ニ感ジテ、寧ロ同情ヲ致
シマス、拓殖部長既ニ然リト致シマスレバ、長官
ノ所ニ對シマシテハ、恐ラク部長以上ト見ルノハ決
シテ適當デナイト私ハ思フ、矢張長官ノ官舎ニモ訪
問スル人ガ多イデアリマセウ、又東京ニ御出ニナッ
テ、訪問スル人ガ多イデアリマセウ、其訪問スル人
人ガ、國家ノ爲メニ訪問スル人デアッタナラバ、是ハ
洵ニ喜ブベキ事デアリマス、恐ラク訪問客
ノ七八分通りハ皆土地實ヒノ連中ガ多イダラウト思
フ、斯様ニ長官ヲ首メ直接土地ノ拂下ニ當ッテ居ル拓
殖部長ハ、情實攻ニセラレ、恰モ砂糖ニ蟻ノ著クヤ
ウナ状態ニサレテ、殆ド常務ヲ執ルコトガ出來ヌト
云フコトデアアル、是ハ果シテ國家ノ爲メニ喜ブベキ
事デゴザイマセウカ、將タ悲ムベキ事デゴザイマセ
ウカ、私ハ無論悲ムベキ事柄デアルト思ッテ居ルノデ
アリマス、斯様ニ出願者ガ多數ニナルニ從ッテ、適當
不適當ノ調査ガ不可能ニナルノミナラズ、特賣ノ法
規ガアル爲メニ、長官並ニ拓殖部長ニモ其累ヲ及ボ
シテ居ルデアリマセウ、殆ド北海道ノ大官高官ノ
人々ガ常務ヲ執ル邊ナシト云フコトデアリマス、カ
ラ、斯様ニ御迷惑デアアルノミナラズ、特賣ノ精神タル
十分ノ調査ヲ遂ゲテ、多クノ中ヨリ就中ヨリ良キ人
ヲ擇ンデ認可ヲ與ヘルト云フ目的ヲ達シマセヌ以上

ハ、此特賣ノ精神ハ何處ニアルカ、此規定ハ全ク反古紙同様に規定デアッテ、國家ヲ毒スルモ、利スル所ナシト云フコトニ歸著スルデアラウト思フ、私ハ決シテ北海道ヨリ一坪ノ土地デモ貫ハントスル様ナ、穢ナイ客ナ野心ヲ持ッテ居ル者デアリマセヌカラ、一個ハトシテハ殆ド痛痒ヲ感ゼザルノミナラズ、寧ロ對岸ノ火災視シテ宜イ位ナ事デアリマスケレドモ、國家ノ爲メニ、又我國有財産ノ前途現在ノ爲メニ、到底看過スル能ハザル所ノ大問題ナリト思ヒマスカラ、斯様ニ御尋ネシテ居ルノデアル、ソコデ斯ウ云フ事ニ就テ更ニ御答ヲ願ヒタイ、如何ニ煩雜デアッテモ、如何ニ迷惑デアッテモ、如何ニ情實ニ攻メラレル煩ガアッテモ、又到底多數出願ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイニシテモ、特賣法ヲ尙ホ繼續シナケレバナラヌト云フ御意見デゴザイマセウカ、將又特賣法ト云フモノハ今ノ言フ通りノ點モアルカラ、此法ヲ改メテ、急デナクテモ公賣拂下ノ方法ヲ執ッテ、其目的ヲ達スルヤウニシナケレバナラヌト思フ、斯ウ云フ御意見デアリマセウカ、二者一ヲ擇ンデ簡單ニ御答シテ頂キマスレバソレデ私ハ宜イ、何モ長官ニ對シテ私ハ反感モナイ、寧ロ御同情申上ゲテ居ル、多數出願ト云フノデアッタナラバ、千人ハ二千人、或ハ一万人、極端ニ言ヘバ何万人デモ、成ベク多クノ人ニ出願サセテ、其目的ヲ貫徹スルコトニナラナケレバ何等ノ意味ヲ爲サヌ、多數ニナッタ時ニハ、ドウモ仕方ガナイカラ公賣ニスルト云フコトデハ、私ハ納得スル譯ニ行カヌ、ソレカラ其次ニモウ一ツ、今ノハドウカ其事ニ御答ヲ願タイ、何方デモ宜シウゴザイマス、出願者ノ多數アリマス場合ニハ、例ヘバ昨日御答ニナリマシタ通り、何處カノ土地ノ公告ニ對シテ、七百人カ八百人カノ出願者ガアッタ、到底一々滴不適ノ調査ヲスル譯ニ參ラスデアッタカラ、是其特賣ヲ中止シテ公賣ノ法ニ依ッテ、斯ウ御明言ニナッタ居ル、併シ私考ヘマスノニ、凡ソ七八百人モ出願致シマス其數ノ中ニ於テハ、確ニ私ハ百人位ハ——其七分ノ一位ハ相等ノ人ガ出願サレテ居ルニ相違ナイト思フ、七百人ニ對シテ百人ノ人ガ即チ其身分調査ノ結果トシテ、其財産ノ點ニ於キマシテモ、其經驗ノ點ニ於キマ

シテモ、又其境遇ノ點ニ於キマシテモ、北海道拓殖ノ目的ニ適フヤ適ハザルヤノ點ニ於キマシテモ、七百人ノ出願中ニハ、百人ノ相等ノ人ガアルニ相違ナイト思フ、サウ云フ場合ニハドウシテ是ガ適不適ヲ御決定ニナッテ遂ニ一個ノ土地デアリマスカラ、一人ニ認可ナサル外ハナイ、若シ百人中同等デアアルニ拘ラズ、百人中ノ一人ニ對シテ御認可ヲ與フルコトニナリマスレバ、後トノ九十九人ト云フモノハ盡ク資格アルニ拘ラズ、失望ノ地ニ落チテシマハナケレバナラヌ、凡ソ多數ニ満足ヲ與ヘルコトヲ以テ政治ノ所謂本義ト解釋スルヤウナ現在ニ於キマシテ、一人ニ満足ヲ與ヘル爲メニ九十九人ガ失望スルト云フコトハ、即チ是ハ長官ノ罪ニ非ズシテ、是ハ制度ノ罪デアラウト私ハ思フ、斯様ナ不完全ナル、斯様ナ煩瑣ナル、而シテ御迷惑ナル、此特賣法ヲ尙且何處マデモ支持シナケレバナラヌト云フ御意見デゴザイマス、サウ云フ場合ニハドウナサル、百人ノ同等者ガアルトキハ、何ヲ標準トシテ百人中カラ一人ヲ御擇ミニナッテ、其者ニ御認可ヲナサルノデアルカ、又隨分多クノ出願中ニハ、如何ハシイ出願者モ多イデアリマセウ、或ハ公職ヲ帶ビテ居ル人ハ、ソレヲ眞向ニ振舞シテ脅迫ノニ行ク人モアリマセウ、甚シキニ至ッテハ獲人形ヲ使ッテ自分ハ知ラヌ顔ノ半兵衛ヲ氣取ッテ、他ノ者ノ名義ヲ取ッテ、認可ニナルトソレヲ自分ノ懷ニ收メル人モアリマセウ、隨分此百鬼夜行ノ有様モ、惡イ時分ニハ行ハレタサウデアリマスカラ、其内容ヲ一々此處ニ於テ御聞キシタイト云フノデハアリマセヌガ、兎ニ角百人同等ノ人ガアル時分ニハ、百人中カラ一人ヲ擇ンデソレニ認可ヲ與ヘテ、後ト九十九人ニ失望サセルト云フノハ、甚ダ私ハ其當ヲ得ザル甚ダシキモノデアルト考ヘマスガ、長官ハ如何ニ御考ニナッテ居リマスカ、此點モ伺ッテ置キマス

○等并政府委員、色々御話ヲ承リマシタガ、結局第一ノ御質問ハ、現制度ヲ維持スルカドウカ、斯ウ云フ事ニナルヤウデアリマス、此現在ノ法律、勅令、之ヲ改正スベキカドウカト云フ事柄ニナリマスト云フト、私ハ主務官廳ノ意見ヲ聞イテカラデナイト御答スルコトガ出來兼ヘルノデアリマス、如何ニモ御話ノ中ニアリマシタ通り、昨年一昨年現拓殖部長ガ居リマシタ時分ニハ、最モ土地熱モ盛ナ場合デアリマシタノデ、競願者ハ極メテ猛烈デアリマシタ、吾々事務ヲ執ルコトニ就テ隨分迷惑ヲシタコトハ事實デアリマススケレドモ、ソレガ爲メニ自分ト致シテハ情弊ニ流レルト云フヤウナル感ジヲ持ッテ居リマセヌ、尙ホ此頃ハ隨分嚴重ニ其ノ調査方ニ就テハ示シテ置キマシタ、世間噂スルガ如キ左様ナ忌ハシキ事實ガアルトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ尙ホ多數ナルガ爲メニ總テ競賣ニ付セズトモ、相當多數ノ時分ニ隨分其資格ガ同等ノモノガアルデアラウ、其時分ニ如何ニシテ選擇スルカドウカト云フ御質問ガアリマシタガ、是ハ身分調査ノ時分ニ、詳細ニ其者ノ財産トカ、信用トカ、經驗トカ、各種ノモノヲ調べマシテ、其北海道ニ土地ヲ得ントスル動機ハドウ云フモノデアアルカト云フヤウナコト、及其土地ノ拂下ヲ受クレバ將來如何ニシテ企業ヲスルカト云フヤウナコトマデモ調査ヲ致シマスノデ、サウ致シマスト云フト、其數ガ漸次減ッテ參リマシテ、多數合議ノ上ニ結局此者ガ比較的優良デアアル、サウシテ又一面ニ斯ル場合ニハ、一區劃ヲ一人ニ拂下ゲルト云フ最初ノ考ヲ變ヘマシテ、ソレヲ二分割スルトカ、三分割スルト云フコトニシテ、不滿ノ間ニ満足サセルト云フヤウナ方法モ取ッテ居リマスノデ、是等モ實際ノ狀況カラ申シマセヌト云フト、洵ニ御判リ難イコトデアラウト思ヒマス、例ヘバ殆ド同一資格ノモノガ二人アリマシテモ、一方ニハ丁度農業ニ従事スルノニ都合ノ宜イ弟ガアッタトカ、長男トカ、次男トカ、三男トカ、云フモノガアル、一方ニハソレ程ノ者ガ無イト云フコトニナリマス、先ッ家庭上ノ狀況ガ、此方ガ適當デアラウト云フ様ナコトカラシテ、ソレニ決シマシタノデ、尤モ先釋澤君ガ此拂下出願者ハ多々益々辨ズルノデ、多クモ多イ程其選擇者ハ優良者ヲ得ルニ宜シイノデハナイイカト云フコトデアリマシタガ、其點ハ吾々ト考ノ出發點ヲ或ハ異ニシテ居ルノデハナイイカト思フノデアリマス、此土地ノ拂下ニ就キマシテハ、高等學校ノ入學志願者ノ多數ヲ得テ、其中選拔スレバ優良ナルモノヲ取レルト云フヤウナ

考ヲ以テ吾々ハ之ヲ告示シテ居ルノデハナクシテ、其取ラントスル一箇所ニ就テ、一人ノ適當ナルモノヲ適當ト申シテモ、非常ナル優良ノ、總テナ點ニ於テ缺點所ナシト云フ意味ヲ嚴重ニ私ハ云ハウト云フノデナクシテ、與ヘラレタル企業條件ヲ全ウシ得ルト認メラレモノデアレバ、一箇處ニ就テ一人アリサヘスレバ、ソレデ満足シテ宜イコトデアリノデアリマス、非常ナ多數ノモノヲ得テ、ソレニ依テ其中カラ選抜ヲシテ見ヤウト云フ意味デハナイ、但シ事實ガ場所ノ都合ノ好イ處デアルトカ云フコトニナリマスルト、利益ノ伴フ所ハ隨分多數ノ出願者ガ出ルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌ事デアリマス、サウシテ此現制度ガ宜イカ懸イカト申スコトハ、先程申シマスル通り、主務大臣ノ意見モ聞イタ上デナケレバ御答ヲスルコトハ出來マセヌケレドモ、吾々ト致シマシテハ、先程來澤君ノ御話ノ中ノ煩雜ト云フコトヲ多少ナリトモ避ケル途ヲ講ジテ、ソレガ又行キ得ラレモノデアレバ、特賣制度ト云フモノハ、拓殖ノ見地カラ申スト云フト適當デアルト思フ、其方法ヲ考ヘテ見マシタノデ、過日其一端ヲ申シマシタノデスガ、停車場ヨリ近イ處デアルトカ、交通ノ便利ナル處デアルトカ、收穫物ヲ搬出スルノニ都合ガ好ク、例ヘバ港灣ノ附近デアルトカト云フ様ナ處、ソレカラ樹木ノ密生シテ居ルト云フヤウナ處ヲ、成ベク小分割ヲ致スト云フコト、同時ニ又或程度實際ニ見極メマシテ公入札ニ付スルト云フコト、ソレカラ更ニ賣拂ノ地面ガ今ノ希望者ニ對シテハ餘リ少ナ過ギルト云フ感モアリマスノデ來年度ニ於キマシテハ此係員ヲ増置致シマシテ、更ニ多クノ賣拂地ヲ出サウト云フ計畫ヲシテ居リマス、尙ホ一ツハ此競願者ガ多ク、又苦情モ多イノハ、只今賣拂ノ代價ガ餘リ安過ギルガ爲メニ、投機的ノ考ヲ持ッテ、種々ナル人ガ出願ヲシテ參リマスノデ、其投機的ノ考ヲ持ッ者ヲ幾分力除却スル方法ト致シマシテハ、土地ノ代價ヲ上ゲルト云フコトガ、ソレニ對スル相當ノ策デハアルマイカト存ジマシテ、其邊ノ所ハ更ニ改正ヲシテ、先ヅ此現制度デ行キ得ラレル途ヲ講ジテ見タイト思ウテ居リマス、其根本ノ制度ヲ改正スルカ否ヤ

ト云フ事ニ就キマシテハ、自分トシテハ自分ノ位置ノ上ニ於テ御答ヲスルノハ困難デゴザイマス
○澤來太郎君 如何ニモ殆ド人間業トシテ不可能ノ事ヲ可能ナラシメントスルガ如キ有様ニナッテ居リマスカラ、如何ニ聰明ナル長官ト雖モ、是ハ御一個ニハツキリ御答ナサルコトハ、甚ダ失禮デアリマスガ不可能デ居ラシヤルト思フ、就キマシテハ御明言ノ通り主務大臣ト能ク御審議ヲ下サリマシテ、吾々ノ心配シテ居リマス事ヲ寧ロ杞憂タラシメラル、ヤウニ、御取計ヒテ國家ノ爲メニ御願ヲスルノデアリマス、唯ダ討論會デアリマセヌカラ、私ハ小股凌ヒヲスル譯デアアリマセヌガ、此多數ノ人ヲシテ出願セシムルヲ以テ可トスルト云フヤウナ考デアルガ、多々益々辨ズルヲ以テ宜シト思ウテ居ルヤウデアアルガ、ソレハサウデハナイ、即チ出發點ヲ異ニシテ居ルト云フ事ニ就テハ、私ハ其御答ニ遺憾ナキ能ハザル者デアリマス、何トナレバ北海道ノ未開地處分地ヲ貰フト云フコトハ、北海道デハ土地ヲ貰フト稱シテ居ル、即チ貰フノデアリマシテ、殆ド無償デ其權利ヲ取得スルコトガ出來ル、斯様ナ結構ナ事ト云フモノハ、先ヅ北海道デアリマスルカラデアリマスノデ、内地ナドニ於キマシテハ夢ニダモ見ルコトガ出來ヌ、大切ノ財産ヲ只得ラレルト云フコトデアレバ、是ハ人間ノ情トシテ、凡ソ千人ノ人ガ千人トモニ望ム所ノモノデアリマス、デアリマスルカラ、サウ云フ土地ノ一箇處ノ拂下ガアルト云フ場合ニハ、最初カラ一箇處ノ土地ニ對シテ一人ダケガ出願スルノガ相當デアルト、斯ウ見ルノハ即チ人間ノ心理ヲ解サバル所ノモノデアリマス、又立法ノ精神トシテ、社會ヲ解セザル所ノ精神ト謂ハナケレバナリマセヌ、只貰フコトヲ欲セザル者ハナイ、貰フモノハ夏モ御小袖ト云フ、ソレガ一體此特賣ノ精神ハ、最初カラ成ベクハ一箇所ノ土地ニ對シテ一人位デアレバソレデ宜シイノデアッテ、ソレガ希望デアルト云フコトハ、是ハ人間ノ心理ヲ解セザル人、若クハ社會ノ事故ニ慣レザル方ノ御話ト致シマスレバ卒ザ知ラズ、荷モ屢々地長官トシテ令名ノアラレタ所ノ現長官ノ御言葉トシテハ、餘リ世故人情ニ暗キ所ノ御答デアラウト思

フ、其出發點ガ誤ッテ居ル、只貰フ所ニハ多クノ人ガ之ヲ得ント欲シテ、サウシテ多クノ出願ノ生ズルコトハ、是ハ最初カラ見ルベキガ相當デアアル、出發點ニ於テサウ見ルガ相當デアアルト思ヒマス、ソレカラ第二ニ縱令百人同等ノ者ガアッテモ、其中カラ矢張適當ノ人ヲ擇フニ決シテ難クナイト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ正直ニ申上ゲマスレバ、甚ダ強辯ニ過ギナイヤウニ思フ、何トナレバ不可分性ノモノヲ可分スルコトハ是ハ不可能デアアル、例ヘバ此處ニ十圓紙幣十枚列ベテ、或ハ一圓五十錢ニシタリ、或ハ一圓七十錢ニ等差ヲ付ケタリスルコトハ、到底何人モ出來ヌ、何故ナラバチャント十圓ハ十圓デ、額ノ定ツタモノハ、之ニ對シテ等差ヲ付ケルト云フ事ハ、恐ラクハ神佛デモ出來マイト云フコトヲ、前キニ申シタノハソレデス、百人ノ同等ノ出願者ガアッタ場合ニ、如何ニ私ハ腕利キノ行政官デアリマシテモ、同等ノモノヲ同等ニ見ル事ハ是ハ不可能デアアル、恰モ十圓紙幣ヲ列ベテ、サウシテ其中カラ等差ヲ付ケル事ノ不可能ナリト同様ノ論法ニ歸スル、可分性ノモノハ何處迄モ可分性、不可分性ノモノハ何處々迄モ不可分性ノモノデアラウト思フ、然ルヲ此不可分ナルモノヲ可分セント企テルガ如キハ、洵ニ私ハ間違ッテ御考デアルト思フノデス、同等ナルモノヲ同等ニ見ル、斯ウ云フ事ハドウモ少シク理解力ヲ持ッテ居ッタ者ヨリ見マスト云フト、寧ロ常識ノ超エテ居ルノデアリマスルカラ、常識以上ノ判斷トシ、又奇術家ノ議論ト致シマシタナラバ卒ザ知ラズ、吾々ニハ了解ニ苦シムノデアリマス、ソレ以上申上ゲルト意見ノ相違ニナリマスカラ申シマセヌガ、畢竟主務大臣ト相談ノ上デ御答ヲスルト云フ所以ノモノハ、此不可分ナルモノヲ可分シテ來タ誤リヲ深ク悔ムル點モアリマセウシ、又明答スルコトノ出來ヌ事情モアリマスル爲メニ、主務大臣ト相談スルト云フコトデアリマセウカラ、其點ハ長官ノ御意ヲ感謝致シマス、唯ダ終リニ臨ンデ一言婆心ヲ加ヘテ置キタイ事ハ、聞ク所ニ依ルト、一箇所ノ土地ノ公告ノアリマスル場合ニ、之ニ出願致シマスルニハ、一人ニ付テ少クモ北海道ノ者ノ話ニ依ルト、三四十圓ヲ使フサウデ

アリマス、願書ヲ道廳ニ提出スル費用ヲ——多イ者ニナルト所謂三百同様に者ニ欺カレテ、千圓モ万圓モ使フコト云フコトガアリマスガ、斯ウ云フ者ハ自業自得デ當然ノ事デアリマスガ、少クモ普通三四十圓乃至五十圓ノ間ヲ使フコト云フコトデアリマス、此郷黨ヲ離レテ遠ク北海道ノ地ニ渡ッテ、ソレヨリ新家庭ヲ築キ上ゲンツル憫レムベキ移民ニ對シテ、四十圓五十圓ノ金ヲ使ハセ、多クノ人ヲ失望ノ地ニ陷レルト云フコトハ、是亦私ハ制度ノ罪ト思フ、ドウカ此多クノ出願者ニ從來ノ如ク多クノ費用ヲ使ハセ、多クノ時間ヲ費サシテ、失望サセルト云フコトハ、御樂ミニモナルマイト思ヒマス、ドウカ彼等ヲ御怒ミ下サイマシテ、畢竟制度ノ罪デアルト云フコトニ御氣付キニナツタラ、此制度ヲ改メテ、多クノ人ニ迷惑ヲ掛ケヌヤウニ御願致シテ此質問ヲ打切ル積リデアリマス

○高木正年君 只今澤君ガ御問ニナツタ事ニ就テ、北海道廳長官カラ御答ガ出來ヌカラ、主務大臣ト相談ヲシテト云フコトデアリマスガ、事柄ハ澤君ト同ジ事デアリマスガ、第一問ハ、北海道ノ官有財産調査會ニ於テ、調査委員トシテ内務次官ガ參ラレマシタカラ、北海道ノ土地處分ニ就テハ是非公人札デヤツテ貰ヒタイ云フコトヲ、從來ノ例ヲ舉ゲテ御話ヲ致シマシタラ、内務次官ハ成ベクサウ致シマセウ、併シ私一人デハ答ガ出來ナイト云フコトデアリマシタガ、私ハ澤君ノ希望且ツ御問ニ對スル附帶ノ言葉トシテ、是非内務大臣ニ私共ハ調査會デ申シタ事ガ實現サレテ行クヤウニシタイト思フノハ、北海道ノ土地拂下ハ、拂下ノミデナク、拓殖ノ意味ヲモ含ンデ居リマスカラ、ソレニ就テハ身元ヲ調ベル必要ガアルト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ到底下可能ナ事デアリマシテ、又木ヲ伐ツテ其ノ跡ヘ植エルトシタ所デ、ソレモ出來ルカ出來ヌカ判カラヌノデアリマスカラ、拓殖ノ意味シテノ將來ヲ保障スルコト云フコトデアタナラバ、農商務省ガ曩ニ高野山ノ拂下ヲシタヤウニ、例ヘバ百町歩ノモノテアッタラ二三十町歩位ニ區分シテ、手ヲ著ケル部分ダケニ金ヲ積マシテ、向フカラヤラナケレバ道廳ガヤルト云フコトニシナ

ケレバ、目的ヲ達スルコトガ出來マイト思ヒマス、徒ラニ手數ヲ掛ケ、各役場ニ向ッテ身元ヲ調ベテモ何ニモナリマセヌ、ソレデ五町以下或ハ團體デ一人前五町以下、事實移住民デアルト云フ者ニ競願デモ宜イカモ知レマセヌガ、是ハ御即答デナクテモ宜シウゴザイマスカラ御相談下サツテ——此事ハ會テ調査會ニ於テ、私一人ノ意見デナク、殆ド全會ノ意見ノ様ニナツテ、サウ云フ事ガ條件トナツテ居リマスカラ、御相談ノ上デ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ北海道ニ於ケル國有林ト未開地トノ處分デアリマスガ、是ハ豫メ二ツニ區分サレテ居リマス、然ルニ之ガ甚ダ暖昧デアアルノハ、或ル時ハ役所ノ都合デ國有林ヲ未開地ニ入レテ處分ナサル事ガアルノデアリマス、未開地ガ國有林ニナツタ事ハ無イカモ知レマセヌケレドモ、時ノ都合デ政府ノ命令デサウナルノデアアルカ知レマセヌガ、從來屢々サウ云フ例ガアリマスガ、是ハ北海道廳ダケデアルノデアリマス、或ハ主務省ニ御相談ノ上デヤリマス、此區分ハ平素ハ判然付イテ居リマスケレドモ、時ニ依リマス北海道廳ガ未開地ニ入レテ處分スルコト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、斯様ニ境界ガ濫リニナツテハ、吾々ハ國有財産トシテ保持シタイト思ツテ居テモ、斯ウ云フコトデハ區別ガ付カナクナリマスガ、是ハ主務省ト御相談ノ上デ決メルノデアリマス、御伺ヒシタイト思ヒマス

○笠井政府委員 現制度ヲ改正セラル、カドウカト云フ事ニ就キマシテハ、澤君カラモ高木君カラモ御話ガアリマシタガ、私ノ澤君ニ御答致シマシタノハ、之ヲ改正スルコト云フ考ヲ以テ主務大臣ニ意見ヲ聽イテ見ヤウ、其上デ御話シヤウト、斯ウ云フ意味デハナイノデアリマス、斯ウ云フ御希望モアル次第デアツテ、只自分トシテハ、自分ノ一存デ直ニ御答スルコトガ出來ヌノデアリマスカラ其御希望ノ次第ヲ大臣ニ御話ヲシテ意見ヲ聽イテ見タイ、斯ウ云フコトヲ御話ヲシタノデアリマス、其點ハ其位ノ程度ニ願ヒタイト思ヒマス（高木正年君 私がハッキリ聽イテ頂キタイノハ豫算ニ就イテデス（ト呼フ）直チニ主務大臣ガ答ヘラレマスレバ至極結構デアリマスガ、此議

會ニソレデ十分ノ話、協議等ガ出來ルカドウカト云フ事ガ、私トシテハ疑問ニ感ジマス、主務大臣ノ答ヲ聽イテ來テ、直チニ此處ニ御話ヲスルト云フダケノ責任ハ取り惡イ譯デアリマス、其爲メニ特ニ此事ヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス、第二ハ未開地ト國有林トノ分界ニ就テノ御尋デアリマシタ、是ハ既ニ御承知ノ事デアラウト思フケレドモ、北海道全體ト云フモノガ、官林ト云ツテ居タ時代ガアルノデ、只今ノ未開地ノ處分法ノ出來ルマデハ、官林解除願ト云フノデ、追々未開地ノ拂下ヲ受ケルト同様に事ヲヤツテ來タサウデアアルノデス、ソレデ大體ノ輪廓ヲ四十年頃ニ付ケマシテ、先ヅ此邊カラ此邊ノ見透シハ之ヲ未開地トシ、此邊ハ國有林トスルト云フヤウナ事ヲ調ベタ時分ニハ、四百萬町歩許リノ國有林デアツタノデアリマス、併シ彼ノ廣キ處ニ在ツテ、僅ノ技師ヲ以テ調査ト云フ事ハ到底出來ナイノデ、未開地トシテ開墾シ、人民ヲ其處ニ移植スル事ガ出來ル場處モ、尙ホ國有林ト云フヤウナ工合ニ、其當時ハナツテ居リマシタノデスカラ、其點ヲ調査致シテ、サウシテ是ハ國有林トスルノガ當然デアアル、是ハ未開地トスルノガ當然デアアルト云フノデ、兩者ノ境界ノ調査ヲ始メタノデアリマス、漸次國有林ハソレガ爲メニ收縮ヲシテ來タヤウナ譯デ、今日ニ在リマシテハ二百三十萬町歩許リガ國有林トナツテ居リマス、ソレデ尙ホモ本當ノ分界ハ付イテ居リマセヌカラ、豫算ニモ現ハレテ居リマスル通り、此兩方ノ分界ヲ付ケル調査費ヲ取ツテ居リマシテ、今調査ヲ爲シツ、アリマス尤モ未開地ト云フノニ編入ヲ致シマシテモ、先程申上ゲルヤウナ工合ニ、或ル地點カラシテ或ル地點ヲ見透シデ以テヤリマシタノデアリマスカラ、國有林ノ管理ヲシテ相當デアルト思フヤウナモノモ、未開地ニ入ツテ居ル譯デアリマスカラ、ソレ等ノ點ハ實際ニ當リマシテ、國有林ノ方ニ編入ヲ致ス、今ハ追々調査モ出來マシタガ、先ヅサウ云フ關係デ以テ、今日迄ハ未開地ガ國有林ニ編入サレル場合ガ起キ又國有林内ニ地積ガ入ツテ居ルモノモ未開地ニシテ行クヤウナ場合ガアリマス、今後モ尙ホ左様ナ場合ガ細カク調査ヲ致シマスルト多少アル筈デアルト思ヒマス、

其調査ハ全ク北海道廳デシテ行クト云フ譯ニナッテ居リマス

○高木正年君 長官ノ御話ニ依リマス、國有林ト未開地ト云フモノハ、區分ノ有ルヤウナ無イヤウナ見透デアルカラ、國有林ト見ルモノモ見透シノ中ニ入ッテ居ルカラ、其點ハ調査スル、斯ウ云フヤウニ伺ッタノデス、一體民有林ト北海道廳ガ認メルモノ、狀態ト國有林ト認メルモノ、狀態トハ、ドウ云フ區別ガ其處ニアルノデアリマスカ

○笠井政府委員 ソレハ開墾ヲシテ居リマスノデ、傾斜ノ少イ處デ開墾スレバ、其處ニ人ヲ移スコトガ出來ルト云フヤウナ處ハ、第一ニ未開地トシテ數ヘラレテ居ルノデス、ソレカラ孤立シテ居ル林地ノヤウナモノデ、別ニ國有林トシテ維持シナケレバナラヌヤウナ關係ノナイモノ、ソレハ植樹地トシテ未開地ノ方ニ入レテ居リマス、ソレカラ樹ヲ植エルニモ、又開墾スルニモ、大體有利デナイト云フヤウナ處ハ、ソレハ放牧地トシテ未開地ノ中ニ數ヘラレテアリマス、國有林ト未開地ノ分界ニ就テ先程御話シタ、ソレダケヲ御聽ニナリマスルト、成程境界ガ頗ル曖昧ノヤウニ御感ジニナルノハ御尤デアリマスガ、廣イ面積ヲ先ヅ此處ハ未開地、此處ハ國有林ト云フヤウナ工合ニ、最初分界ヲ付ケル時分ニハ——細イ事ハ私ニハ判リマセヌガ、或ル地點ヲ擇ンデ、其處カラ向フノ山ノ裾ヲ線ヲ引ク様ナコトデ以テ大體ノ分界ヲ付ケタ、ダカラ是ハドウシテモ調査シテ整理シナケレバナラヌ狀態ニナッテ居ルノデス、ソレヲ漸次是ハ國有林トシテ保存スベキモノト云フ其麓マデ段階調査ヲシテ、其處ヲ國有林デアリ、其地點カラ比較的平地ナル處ハ之ヲ未開地ノ方ニ編入シテ、他日ノ開墾ノ用地ニシヤウト、斯ウ云フ風ニ調ベラレタノデス、尙ホソレガ調査行届カズシテ、今日其調査ヲ進行シツ、アル、斯ウ云フ狀態デアリマスノデス

○高木正年君 只今ノ長官ノ御答辯ニ依リマス、平坦ノ地デ開墾ノ出來ル處ハ未開地、ソレカラ傾斜ノ多イ處デ、要スルニ開墾ノ出來ナイ處ヲ國有林トスル、必ズシモ此二種別デハアリマスマイガ、大體サウ云フヤウニ受取レルノデス、サウスルト國有林ト云フモノハドチラカト云フト、開墾モ出來ナイ、一遍樹ヲ伐レバ跡ニ植エルコトモ出來ナイ傾斜ノ地デ、北海道ノ有ユル土地ノ惡イ處ダケガ國有林ト云フコトニナリハシナイカ、一體私共ガ國有財産トシテ森林ヲ持チタイノハ、若シ之レヲ民間ニ委セルトキニハ、ドウシテモ濫伐ニ陥ル、之ヲ百年五十年計畫トシテヤッテ行クコトハ、大富豪カ、殊ニ森林ニ趣味ヲ持ッタ人デナケレバ出來ナイ、ソレハ必ズシモ其ノ實例ガ無イノデハナイ、斯ウ云フコトデハ皆伐リ倒サレテシマウカラ、森林ハドウシテモ國ガ或ル程度マデハ所有シテ居リ、之レニ依ッテ一面ハ森林ニ依ッテ水源ノ涵養ヲ爲シテ行クコトガ、極メテ調和スルコトニナル、一面ニハ國トシテ森林ヲ持ッテ居ッテ、百年計畫、五十年計畫ヲシテ國有トスルト同時ニ、之ヲ以テ國ノ一ツノ有用ナルモノトシテ置ク、之ガ日本中ニ在ル森林財産ノ保管ノ目的デアアル、北海道モ矢張此意味デ以テ國有財産ヲ持ッテ居ナケレバナラス、今北海道長官ノ仰ッシャル所ニ依ルト、平坦地ヲ開墾シテ、未開地ハ層ダケデ、之ヲ國有ニ殘スト云フコトデアリマスガ、サウ云フ事デアルト、北海道ノ國有ニ屬スル森林ト云フモノハ頼ミノ少ナイモノニナルト思フ、故ニ國有林トシテモ相當ノ土地ヲ殘シテ、勿論傾斜地モ入ルデセウ、併ナガラ是ハ矢張森林經營ノ性質ノ百年目トカ七十年目トカニ伐採シテ收益ヲスル、又植林ヲスル、其他ノ細カイ事ハ長官ノ言ッタ所デハ、政府ガ持ッテ居ッテモ、政府ノ物トシテモ、人ヲ置クコトガ出來スト云フヤウナコトデハ、大體吾々ガ見解ヲ持ッテ居ル國有森林ト認メルモノノ性質ト、北海道長官ノ所謂國有森林ト云フモノノ性質トハ全ク違ッテ、吾々ノ考ヲ裏切ッテ居ルヤウニ思ヒマス、果シテ今仰ッシャル通りノ場所ヲ國有林トシテ殘シ、其他ハ未開地トシテ處分スル、是デハ北海道ハ荒レニ荒レテ行クト云フ結果ニナル、果シテサウデアリマスカ、此事ハ頗ル大切ナ事デアリマスカラ、暖味ノナキ所ノ御答ヲ承リタイト思ヒマス

○笠井政府委員 國有林ト民有林トノ分界ハドウ云フ工合デアアルカト云フコトデアッテ、ソレデ大體ノ線ト致シマシテハ、開墾ノ出來ル未開地ト、其他ノ所ハ山トカ國有林トカシテ殘シテアル、斯ウ云フ風ニ御答シタノデアリマスガ、國有林其モノハ決シテ荒廢シテ居ル譯デハナイ、北海道ノ利源ハ他ニ誇ルベキヤウナモノガ處ニニアリマス、尤モ火ガ入り、或ハ無立木デアルト云フヤウナ所ハ、之ヲ特別人工法或ハ天然造林ヲヤッテ居リマス、伐採ノ如キモ昨年來官行斫伐ノ法ニ依リマシテ、將來ノ維持ノ爲メニ其邊ノ考慮ヲ致シテ、木ヲ伐ッテ跡ニ植エテ行クトカ、天然ニ木ヲ培養スルト云フヤウナ工合ニ心ヲ付ケテヤッテ居リマス、明年ノ豫算ハ此國有林經營ノ爲メニ三百萬圓以上ヲ支出スルト云フコトニナッテ居リマス、其他林内歩道ヲ造リマシテソレヲ監督シ、尙ホ改善スルト云フコトモヤッテ居リマスシ、林内移民ノ項ヲ置イテ、其官行斫伐ヲヤル時分ニ、常ニ自分ノ利害關係ノ山トノ密接ノ打合ハ勿論ノ事、木ヲ植付テ行クト云フ方法ヲ取ッテ居リマス、尙ホ人ヲ多クシ經費ヲ増シテ參リマシタナラバ、更ニ國有林ノ方ハ宜シカルベキ譯デアリマスケレドモ、北海道ノ國有林ハ決シテ荒廢ニ歸シテハ居ラヌノデアリマス、既ニ拂下ゲテアリマスル山ノ如キハ、是ハ森林トシテ國有林トシテ必要ノ無イ部分ガ拂下ラセラレテ居リマス、尙ホ此平地ノ方デ、或ハ是ハ餘計ナ事カ知レマセヌケレドモ、平地ヲ保護スル爲メニ、國ト致シマシテハ、風防林ヲ組成シテ居リマス、是モ約六萬町歩モアリマス、是ハ林業トシテ明年度ヨリ更ニ之ヲ行フト云フヤウナ工合ニナッテ居リマス、是ハ國有林ト未開地トノ分界ト云フコトハ、圖面カ何カデ申上ゲマシタナラバ或ハ明瞭ニナルカト思ヒマスガ、唯ダ大體ヲ申シマスルト、以前ニ調査シタ第一番ノ手段トシテハ、或ル地點カラ或ル地點マデ見透シヲシテ境界線トシテ、サウシテ後トハ調査ノ上整理スル、今日迄ハ斯ウ云フ事ニナッテ居リマスカラ、斯ウ云フ事ニ御承知ヲ願ッテ置キマス

○長谷場敦君 先刻大藏省ノ御説明ニ依リマスルト、朝鮮總督府ノ所有ノ鑛業權ハ、從來官有財産ニ入ラナカッタ、以後ハ之ヲ認メルト云フヤウナ御話デアリマス、御承知ノ通り總督府ハ多數ノ石炭若クハ金鑛ノ鑛區ヲ所有シテ居リマスガ、且ツ現在經營シテ

居ル所ノモノモ少クナイヤウデアリマスカラ、其狀況ヲ此際參考トシテ御尋シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、尙又朝鮮總督府ハ或ル場所ヲ限ッテ金鑛區域トシテ民間ニ許可シナイ鑛區モ土地モ澤山アルヤウデアリマスカラ、其邊ノ狀況ヲ詳細ニ承ッテ置キタイト思ヒマス

○大塚政府委員 大體御答ヲシテ置キマスガ、朝鮮總督府ニ於キマシテ所有シテ居リマスル鑛區ハ、平壤ノ炭鑛一箇所デアリマス、其他朝鮮總督府持ッテ居ルト稱セラレテ居ル鑛山ハ、單ニ當分許可ヲシナイ、許可權ヲ保留シテ居ル鑛山ニ過ギナイノデアリマス、即平壤附近ノ炭鑛、价川附近ノ炭鑛、其他舊韓國ノ帝室ニ於テ持ッテ居リマス所ノ鑛江ノ鑛區デアリマス、併ナガラ今日ニ於テハ先願主義ヲ適用シナイト云フダケニ止ッテ居リマス、尤モ金鑛ノ事ニ就キマシテハ、鑛層調査ト云フモノヲ始メテ居リマシテ、其調査班ニ於テ炭鑛ヲ調査シツツアルノデアリマス、併シハ朝鮮總督府ニ於テ鑛業權ヲ持ッテ居ッテ、炭坑ヲヤッテ居ルノデアリマセス、鑛脈ノ價值如何ト云フ事ヲ調ベテ居ルニ過ギナイノデアリマ

○長谷場敦君 只今ノ御答ニ依リマス、平壤附近ノ石炭鑛區ヲ持ッテ居ルダケデ、外ニハ無イト云フ話デアリマスガ、尙州ニ現在炭坑ガアルト云フコトデアリマスガ、ソレハドウ云フ種類ノモノデアリマスカ、是等ノ鑛區ニ對シテハ、將來ハドウ云フ風ナ方針ヲ朝鮮總督府ハ持ッテ居ラレマスカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、之ヲ積極的ニヤルカ、消極的ニヤルカト云フ事ヲ御尋ネ致シタイノデアリマス

○大塚政府委員 御尋ノ尙州金坑ハ、只今申シマシタヤウニ、鑛層調査ヲヤッテ居ル鑛山デアリマス、是ハ先年來豫算ニ鑛層調査ノ費用ヲ計上致シマシテヤッテ居ルノデアリマス、今日ノ所デハ之ヲ官營ニシテヤッテモ宜シイシ、或ハ民營ニシテヤッテモ宜シイ、マダ確定的ナ結論ハ見テ居ラヌノデアリマス、ドチラニ致スカハ未定ノ狀態ニ在ルノデアリマス

○長谷場敦君 サウシマスルト、尙州ノハ先ヅ今日ハ未定トシマシテ、全體ニ於ケル鑛業ノ方針ハドウ

云フ御考デアリマセウカ、ソレヲ一寸伺ヒマス

○大塚政府委員 朝鮮ノ金鑛業ト云フ事ニ就キマシテハ、大體ニ於テ鑛層調査ヲヤリマシテ、尙州ノ鑛山ハ別ト致シマシテ、其他ハ今日ト雖モ出願者ニ許可致シテ居リマス、先願者ニ許可ヲスルト云フ法規ノ適用ダケニシナイデ、殆ド開放シテ居ルノト同ジ有様デアリマス、石炭ニ就テハ朝鮮ノ鑛山デナイ方ノ工業——其工業ノ將來ニ鑑ミマシテ、朝鮮ニハ石炭ガ極メテ少イト云フ事實ニ鑑ミマシテ、是ガ處置ニ就キマシテハ常ニ深ク研究セネバナラヌト考ヘテ居リマス、併ナガラ何時マデモ之ヲ保留シテ置クト云フ事ハ、却テ世間ノ利益ヲ害スルノデアリマスカラ、出來得ルダケ之ヲ利用サセタイト云フ考ヲ持チマシテ、先年來保留シテ居リマス所ノ平壤附近ノ炭坑ニ就キマシテ、實際ニ於テ之ヲ探掘スル人ガ出タ時ニハ許可シテ居リマス、即チ朝鮮電氣鑛業ダトカ、其他ノ人ニ相當許可シテ居ルノデアリマス、大體ニ於キマシテ海軍煉炭用ノ石炭ノ供給ニ差支ナイ程度ニ於テハ、民間ニ委セタイ考ヲ持ッテ居リマス、併シ先刻申シタ通り、極メテ石炭ノ少イ土地柄デアリマスカラ、出來ルダケ旨ク之ヲ利用スルト云フ方針ヲ以テ、是ガ處分ニ就テ常ニ慎重ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○長谷場敦君 只今ノ御答ニ依リマス、石炭鑛區ハ民間ニ開放シテアルト云フ御話ノヤウデスガ、私共聞イテ居ル所ニ依リマス、或區域ヲ限リテ民間ニ許可スルガ、朝鮮總督府自身ガ經營スルト云フ豫定ノ場所ハ、從來ハ開放シナカシタ、併シ是モ場合ニ依ッテハ開放サレルヤウナ方針デアルト云フ事ヲ仄ニ聞イテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ風ナ御方針デアリマスカ、ソレカラ又先ノ尙州炭坑ノ如キモ、マダ御見込モ確然ト立タナイト云フ話デアリマスガ、將來或ハ場合ニ依ッテハ之ヲ民間ニ開放スルヤウナ事モアルデセウカ、ドウデセウ

○大塚政府委員 石炭ニ就キマシテハ、只今申ス通り、從前ハ政府經營ノ場所トシテ豫定シテ置イタ區域ハ、非常ニ廣カッタノデスガ、ソレハ或ル程度迄縮メテ、サウシテ其區域ニ餘ッタ所ヲ閉止炭坑トシテ居

ルノデアリマシテ、其他ノ炭坑ニ就キマシテノ處分ハ、慎重ニ致シマスガ、必ズシモ民間ニ許可スル事ヲ禁止シテ居ル譯デハナイノデアリマス、斯ウ云フ事ニ御承知置テ願ヒタイト思ヒマス

○竹上藤次郎君 私ハ質問ノ打切ヲ急グ譯デハアリマセスガ、マダ伊藤君ノ分モ殘ッテ居ルヤウデアリマスカ、今日ハ之デ終リトシテ、政府委員ノ出ラレル時ニ御聞キテ願ヒ、サウシテ討論ニ這入ッテ頂キタイト思ヒマス

○澤來太郎君 大抵關係委員ノ質問モ將ニ終リテ告ゲサウデアリマスカラ、願クバ次回ニ於キマシテハ、午前中ニ質問ヲ切上ゲテ、討論ニ入ルヤウニシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、其前ニ大藏省當局ニ御考慮ヲ願ッテ置キタイノハ、ソレハ前々同ヨリ前同ニ續イテ、宮古啓三郎君ヨリ御尋ネ致サレマシタ隣地境界査定ニ就テハ、必ズヤ政府當局ニ於カレテモ、御考慮下サッタコトトハ存ジマス、ケレドモ、若シ其ノ爲メニ本案ノ成文迄モ改メル程ノ必要ガナイト云フ御考デアリマスレバ、或ハ勅令ニ於テモ宜シイノデアリマス、兎ニ角政府側ニノミ其査定權ヲ有シテ居ルモノデハナカラウト思ヒマス、矢張人民側ノ方ニモ隣地ノ所有主モ同様ノ要求權ヲ満足スル様ニ致シタイト思ヒマス、正ニ明日午前ヲ以テ質問ガ終ルデアラウト豫想致シマス、サウシテ同時ニ討論ニ入リマスマデノ間ニ、御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス、此點ニ就テ大藏省ノ御意嚮ヲ承ッテ置キマス、ソレカラ其前ニ、大急ギデアリマスガ、先ニ取寄セト云フト語弊ガアリマスガ、御求メシテ置キマシタ農商務省ノ政府委員——御在デニナッテ居リマスルナ、幸デアリマスカラ申上ゲテ、是デ私ハ一切質問ヲ致シマセス、農商務省ノ所管ノ事柄ニ關シテ、茲ニ改メテ御尋ヲ申シテ置キタイ事ハ、大體カラ申シマス、我が行政事務ト云フモノハ、極メテ不統一ナル事ガ多イ、其結果トシテ同ジ制度ノ各省デアリナガラ、何事カ關係ノアル交渉ノアル事故ガ發生致シマス、互ニ相讓リ合ヒヲシテ、以テ其責ヲ免レントスル如キコトモ往々アルヤニ聞イテ居リマス、例ヘバ前回ニ於テ御尋ネ申シマシタ通り、我國ノ森林ト云フモノハ今尙

ホ統一サレテ居ラス、朝鮮ハ朝鮮、臺灣ハ臺灣、樺太ハ樺太、北海道ハ北海道、内地ハ内地、斯ウ森林デアリマスカラ林立シタ方宜シイノデアリマセウガ、餘リ事務ノ林立ハ感服シナイ、是ハ早晚其林立ノ弊ヲ矯メテ、サウシテ統一ナサル時機ガ、到來スルノデアラウト思フ、一例ヲ引イテ申シマス、先ヅ林政ノ不統一ト云フモノハ、今申上ゲタヤウナ次第デアリマセウガ、ソレカラ更ニ農商務省ニ於テ大變ニ御苦心爲サレテ居ル所ノ事務中、就中困難ナル事務ノヤウニ見受ケマス所ノモノハ、有ユル産業ニ關係致シテ居ルト云フ廉ヲ以テデアリマセウガ、外國貿易品ニ關スル等ノ統計書ナドハ、大變面倒ナモノヲ御作リ爲サレテ居ル、ソレト同一ノ事務ヲ大藏省デモヤッテ居ル主税局デヤッテ居ル、サウカト思フト外務省ノ通商局ノ方デモヤッテ居ル、サウシテヤリ上ゲタ所ノ結果如何ヲ見マスルト、矢張り略々同一ノ事ヲ調査ノ上ニ現ハシテ居ル、是ガ即チ事務ノ不統一ナル一ツノ例デアル、尙ホ甚シキニ至ツテハ、即チ今當面ニ於テ御尋ネ致サウトスル所ノモノハ、日本ノ畜産業ト云フモノハ、非常ニ多岐ニ互ツテ、是モ不統一ニナツテ居ルノデアル、ザット算ヘテ見マスルト、總テ國家ノ事業ト云フモノハ、一ニ歸シテ居ラナケレバナラヌ、其所管ハ一箇所ニ決ツテ居ラナケレバナラヌモノデアラウト思フトデアリマス然ルニ實際ハ多岐ニ亘リ、何處ガ中心デアルカ、殆ド吾々門外漢ハ當惑セザルヲ得ヌヤウニ思フトデアリマス、日本ノ牛馬羊豚ノ如キ畜産ハ、宮内省所管ニ於テモ、御料局ニ於テヤラレテ居ル、サウカト思フト陸軍省ノ馬政局ノ方ニ於テモ亦馬若クハ其他ノモノヲ作ツテ居ル、サウカト思フト又無論本職トシテ農商務省ノ方ニ於テモ、矢張畜産ヲ營マレテ居ル、或ハ軍馬補充部等ニ於テモ、矢張間接ニ畜産ヲヤッテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ算ヘ來ツテ見マスルト、日本ノ畜産ナルモノハ、三箇所ニモ四箇所ニモ營マレテ居ルノデアリマスカラ、矢張林業ノ林立シテ居ルト同様ノ有様ニナツテ居ルノデアリマス、若シ外國人ガ之ヲ見シタナラバ、日本ノ政府ハ畜産ト云フ一ノコトヲヤルノニ、大變多岐煩雜ニ亘ツテ居ルモノデアアル、不思議ナ行政ノ遺

方デアルト、斯ウ不可思議ノ感ヲ催スニ相違ナイト思ヒマス、何故ナラバ、内國人ノ吾々サヘ不思議ニ思フノデアリマスカラ、外國人ガ見タナラバ、實ニ其不思議ナ遺方ヲシテ居ルモノデアルト見ラレルニ相違ナイト思ヒマス、是モ矢張此林政森林ノ統一ト同様ニ、農商務省ガ主トナツテ——中心トナツテ我國ノ畜産政策ナルモノヲ統一スルコトヲ御努メニナラナケレバナルマイ、所ガ一向從來ノ農商務省ハ此點ニ御注意ヲ御拂ヒニナラナイ、此不統一ガ殆ト當然カノ如キ御態度ヲ執ラレテ居タヤウニ見ラル、ノデアリマス、洵ニ私ハ國家ノ爲メニ此不統一ヲ悲ミ、餘計ナ事デハアリマセウガ、心配シテ居ルノデアリマス、之ヲ統一シテ、サウシテ從來ノ弊ヲ御改メナサル御意思ガアリマセウカ、如何デゴザイマセウカ、之ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

○委員長(清水市太郎君) 澤君、長イヤウナラモウ一回質問ノ日ヲ設ケテ……

○澤來太郎君 モウ私ハ是デ絶對ニヤラナイ、宣言通りニ實行致シマス——併ナガラ斯ク申スト云フト、農商務省ヲ攻撃ノ意味ガ加ハタヤウデアリマシテ、農商務省ヲ攻撃スルト云フコトハ、現政府ヲ攻撃スルヤウデ、與黨トシテ洵ニ申上ゲ難イノデアリマス、併シナガラ是ハ現政府ノ罪デハナイ、因襲ノ久シキト云フ古イ言葉ガアリマスガ、因襲ノ久シキ常習犯ニ相成ツテ、終ニ歷代ノ政府ニ皆傳統的ニ傳ツテ來タ弊害デアリマス、其罪アリトセバ、歷代ノ政府平等ニ責ヲ負ハナケレバナラヌ、此見解カラ致シマスルト、敢テ私ハ現政府ヲ辯護スルノデアリマセヌガ、是モ常習犯トシテ因襲ノ久シキ、終ニ今日ノ如キ有様ニ相成ツタニ過ギナイノデアリマスカラ、御遠慮ナク實ハサウデアッタト云フコトヲ打明ケテ御話シ下サイマスカヤウニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○中井政府委員 御答致シマスガ、只今ノ御尋ノ中デ、林業ノ事ニ就キマシテハ、先日農商務次官ヨリ御答ヲ致シマシタ、又畜産ノ事ニ就キマシテハ、多少ノ關係ハ山林局ニモシテ居ルノデアリマスガ、主トシテ農務局ニ關係ガアリマス、只今農商務大臣モ農商務次官、農務局長モ豫算ノ分科會ノ方ニ參ツテ居リ

マスカラ、只今ノ御質問ニ就テハ、私ヨリ申傳ヘマシテ、何レ明日御答致スヤウニ致シタイト存ジマス

○清峯太郎君 樺太ノ政府委員ハ御在デニナツテ居リマスカ

○委員長(清水市太郎君) 樺太ノ政府委員ハ見エヌヤウデス

○清峯太郎君 御出デニナリマセヌケレバ、委員長ヲ通ジテ要求ガアリマス、昨日私カラ此調査材料ヲ要求シテ置キマシタ所ガ、本日早速斯ウ云フ風ニシテ御廻ハシ下サレタコトヲ謝シマス、私ハ樺太ノ事ナドハ何ニモ知リマセヌデ、本日迄公ノ席デ樺太ナドト云フ言葉ヲ使ツタ事ハナイ、昨日初メデアリマスト云フノハ、昨日長官ノ御説明ヲ聞クト、ドウシテモ伺ツテ見ナケレバナラヌト云フコトニ遭遇致シタ譯デ、一二材料ヲ御尋シテ置キマシタガ、其ノ材料ヲ今日此デ拜見スルト、益々御尋セネバナラヌ必要ガ起ツテ來ル、尙ホ御尋スル方ハ兎モ角モトシテ、材料ノ方モ少シ不備デアリマスカラ、委員長ヲ通ジテ一二ノ材料ヲ要求シタイ、ソレハ樺太ノ此材木ヲ拂下ゲル契約ヲシタ會社ノ名前ハ、此ニ在ル四社ヲ限ルヤ否ヤ、拂下ノ契約ヲシタ會社ノ名前及重役、ソレ等ノ名前、ソレカラ其年限、ソレカラ其拂下ゲノ契約ヲシタ以來今日ニ至ル迄ノ利益配當等ノ歩合、其會社ノ財産狀態ノ大要ト、斯ウ云フ事ヲ聞クノハ、甚ダ何カ面白クナイ、私自身モドンナ考ヲスルカ面白クナイヤウデアリマスケレドモ、樺太長官ノ御提出ニナツタ沿革書ヲ讀ンデ見ルト、斯ウ云フ事ガ書イテアル「材木ノ大部分ハ四五ノ「バルブ」會社ノ獨占スルガ如キ觀アルモ、現在ノ各會社ハ何レモ當局ノ切實ナル勸告ニ依リ、已ムヲ得ズシテ營利ヲ度外ニ措キ、拓殖上半バ義侠心ヲ以テ事ニ當ルモノナリ」云々ト書イテアル、義侠心ヲ以テ當ル會社ニ拂下ヲ契約シテ居ルカ、果シテサウデアラナラバ、本員等ハ相當ノ敬意ヲ此會社ニ拂ハナケレバナラヌ、私ハ何ノ意味ハナイ、唯此ノ會社ガ義侠心ヲ以テヤッテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ調べテ貰ヒタイト思ヒマスカ、其會社ノ名前ナドノ模様ドウゾ一ツ是等ノ材料ダケハ提出シテ貰フコトニ

○委員長(清水市太郎君) 諸君ニ御諮リ致シマス
ガ、政府委員ハ豫算分科ナドニ出テ、中々多忙ノヤウ
デアリマシテ、一々御望ミノヤウニ來ラレルトキモ
來ラレナイトキモアル、二日許リデ分科ガ濟ンデシ
マウト云フノデ、三日程休會シテ待チマシタモノカ、
引續キ明日午前ヤツテシマヒマスカ

○清盛太郎君 只今御發議ガアツタヤウデアリマス
ガ、明日午前中位デ質問ヲ打切ツテ頂キタイ、更ニ決
定ハ明後日位ニシテモ、質問ハ明日午前中位デ打切
リニ……

○委員長(清水市太郎君) 諸君ニ御質問ガ多イヤウ
ナレバ、政府委員ノ豫算分科ヲ濟マシタ後ニ延バシ
マスガ、モウ大抵宜イヤウデスカラ、明日午前中位デ
打切リマスカラ、デ質問ハ明日十時カラ始メマシテ
打切リマス、ソレカラ一日カ二日置イテ討論ニ入ル
コトニシマシテ 公報ヲ以テ報告致シマス、本日ハ是
デ閉會致シマス

午後四時三十分散會

大正十年二月八日印刷

大正十年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局